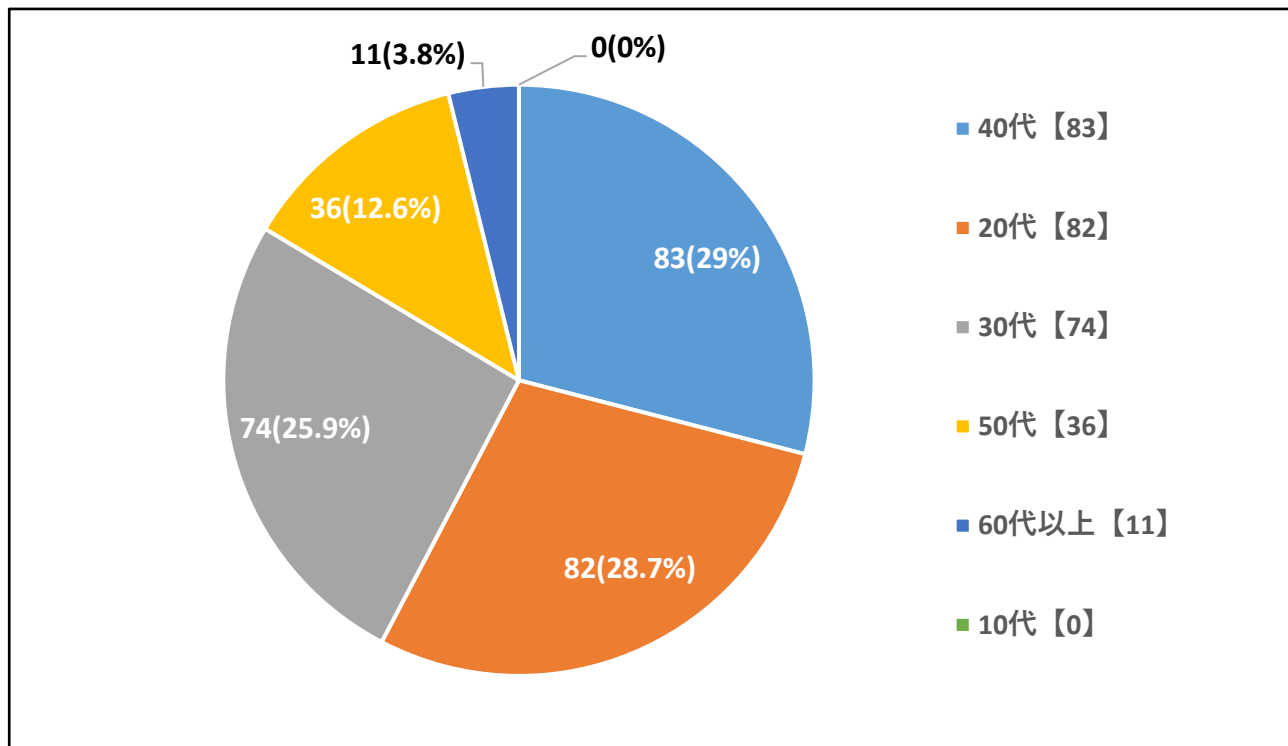


気仙沼商工会議所 人口減少対策委員会
気仙沼市移住者アンケート 調査結果

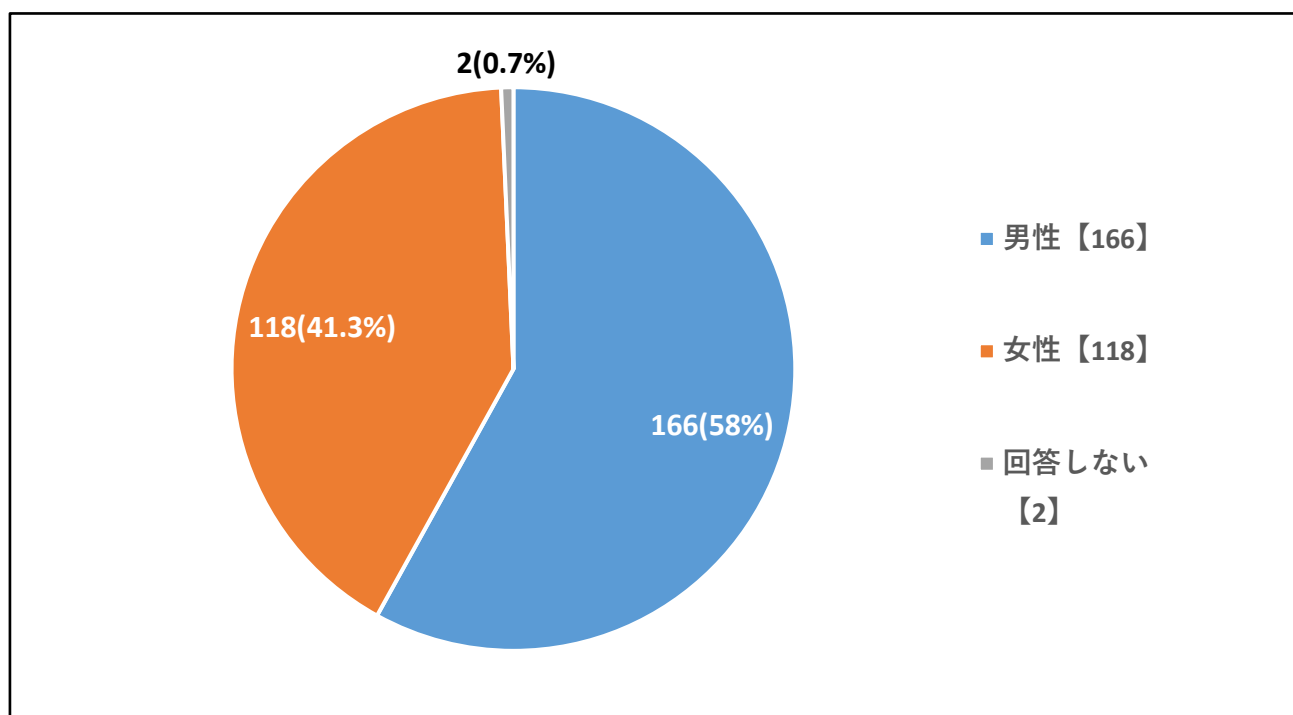
期 間：2022年11月4日～12月9日

回答者数：286人

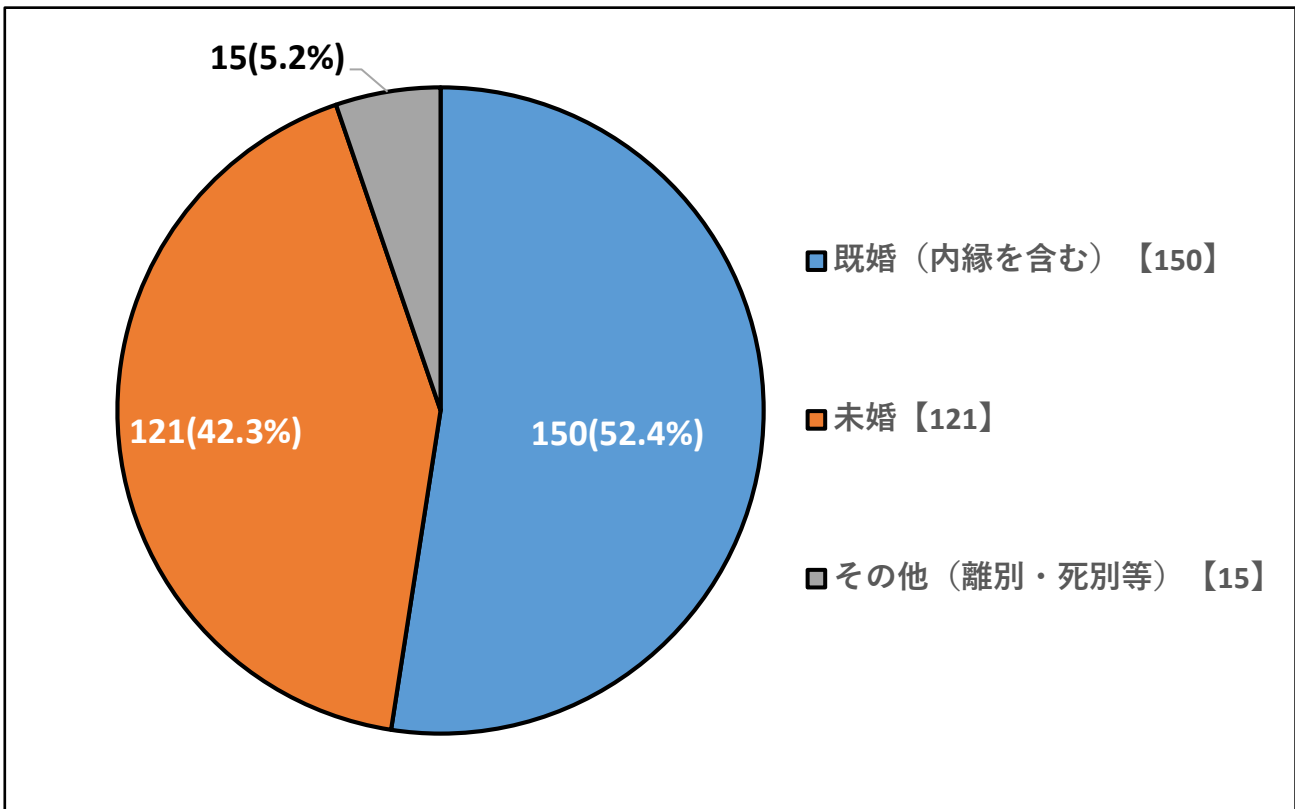
問1. 年齢を教えてください。（回答数286）



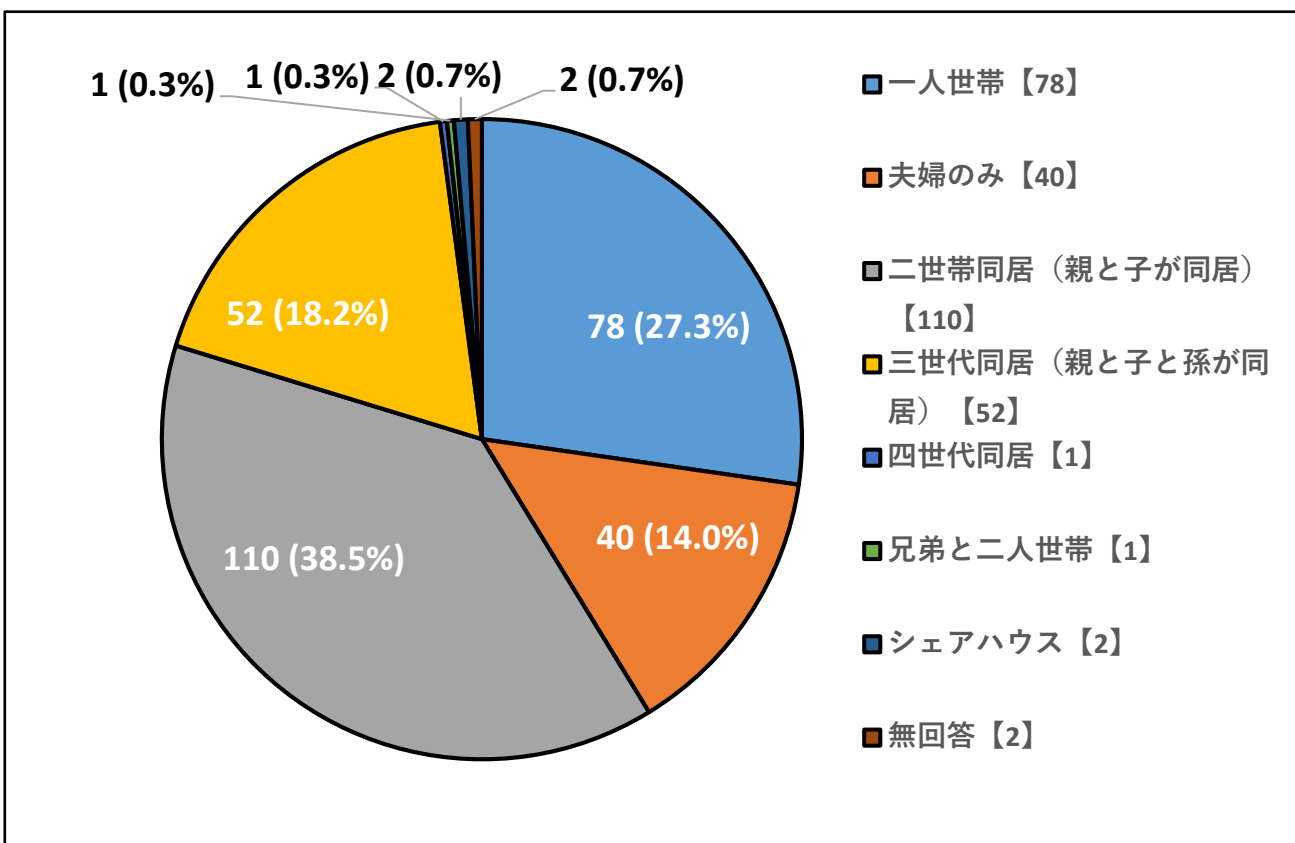
問2. 性別を教えてください。（回答数286）



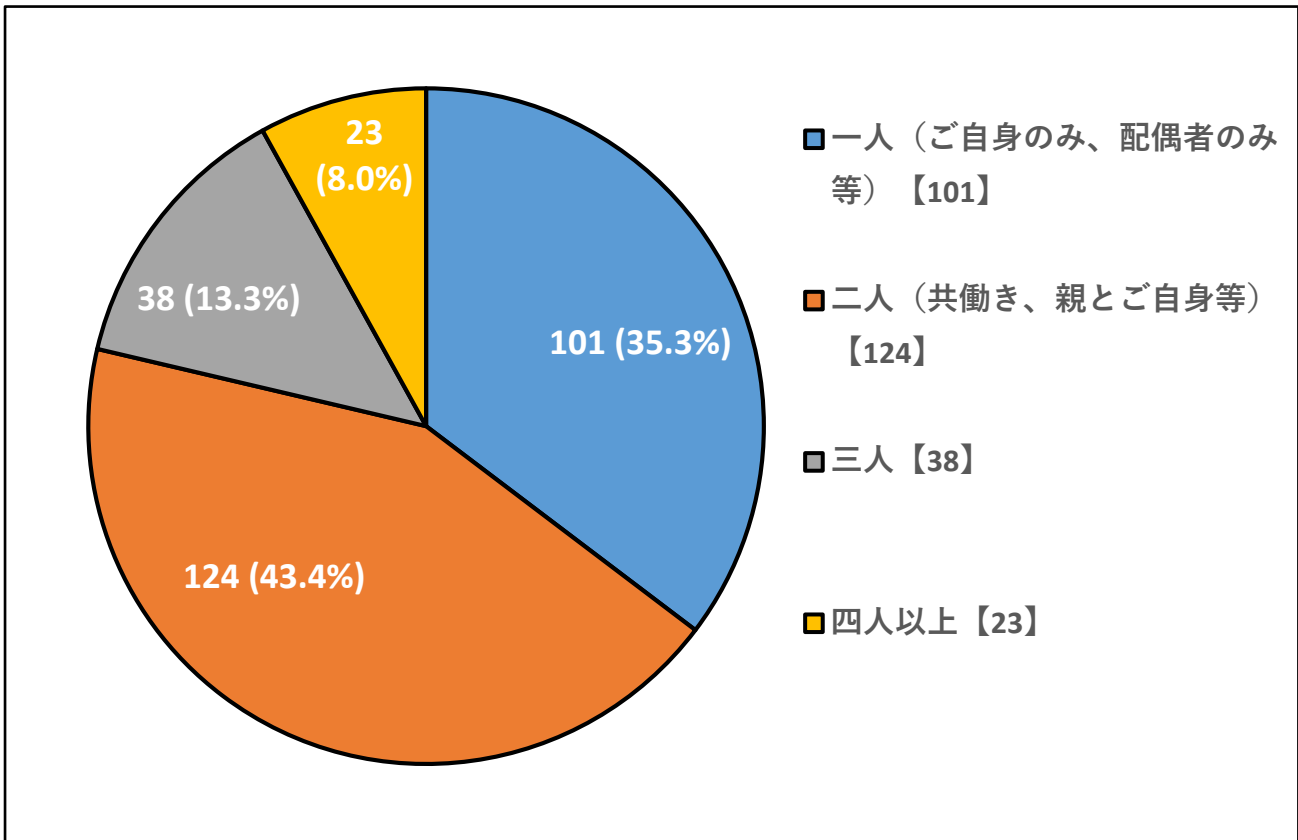
問3. 結婚はしていますか。(回答数286)



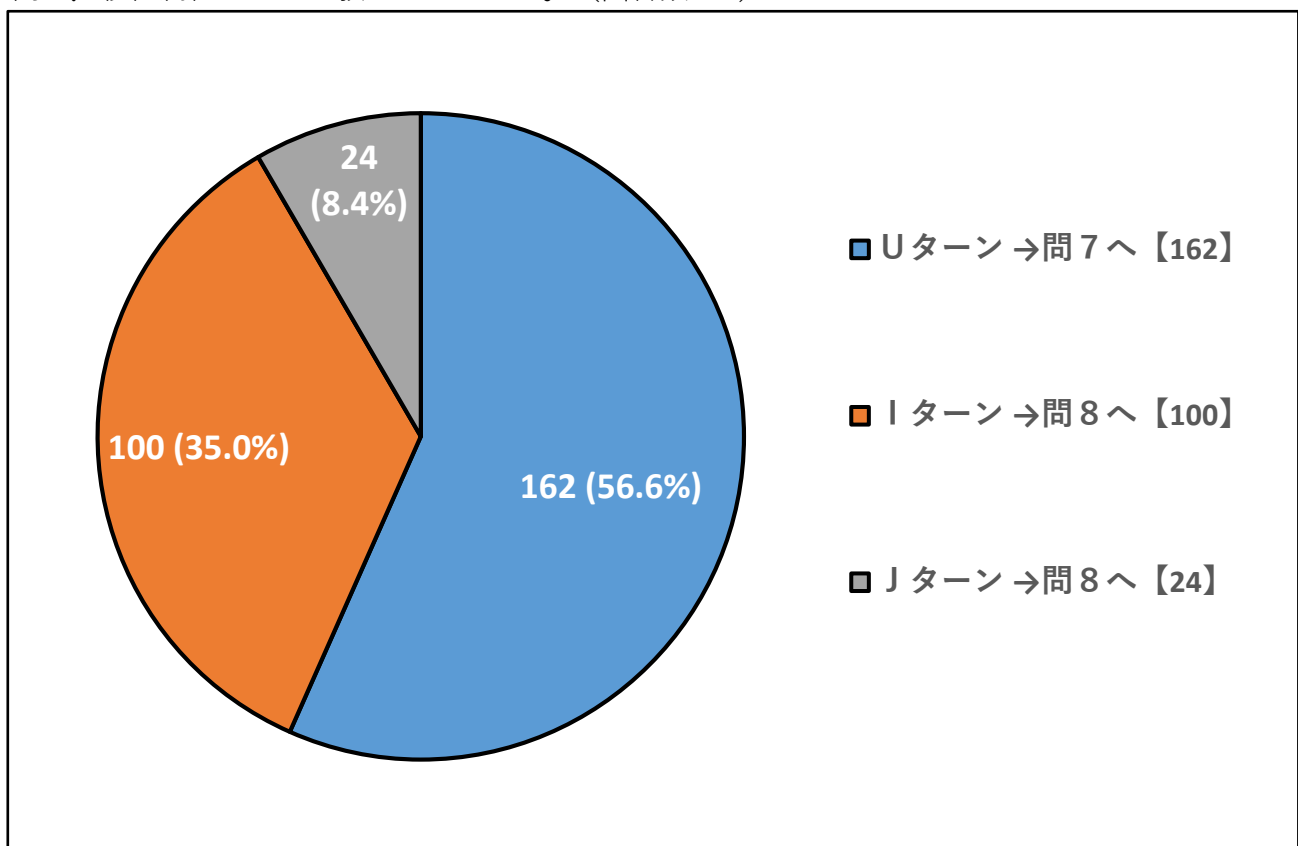
問4. 家族構成を教えてください。(回答数286)



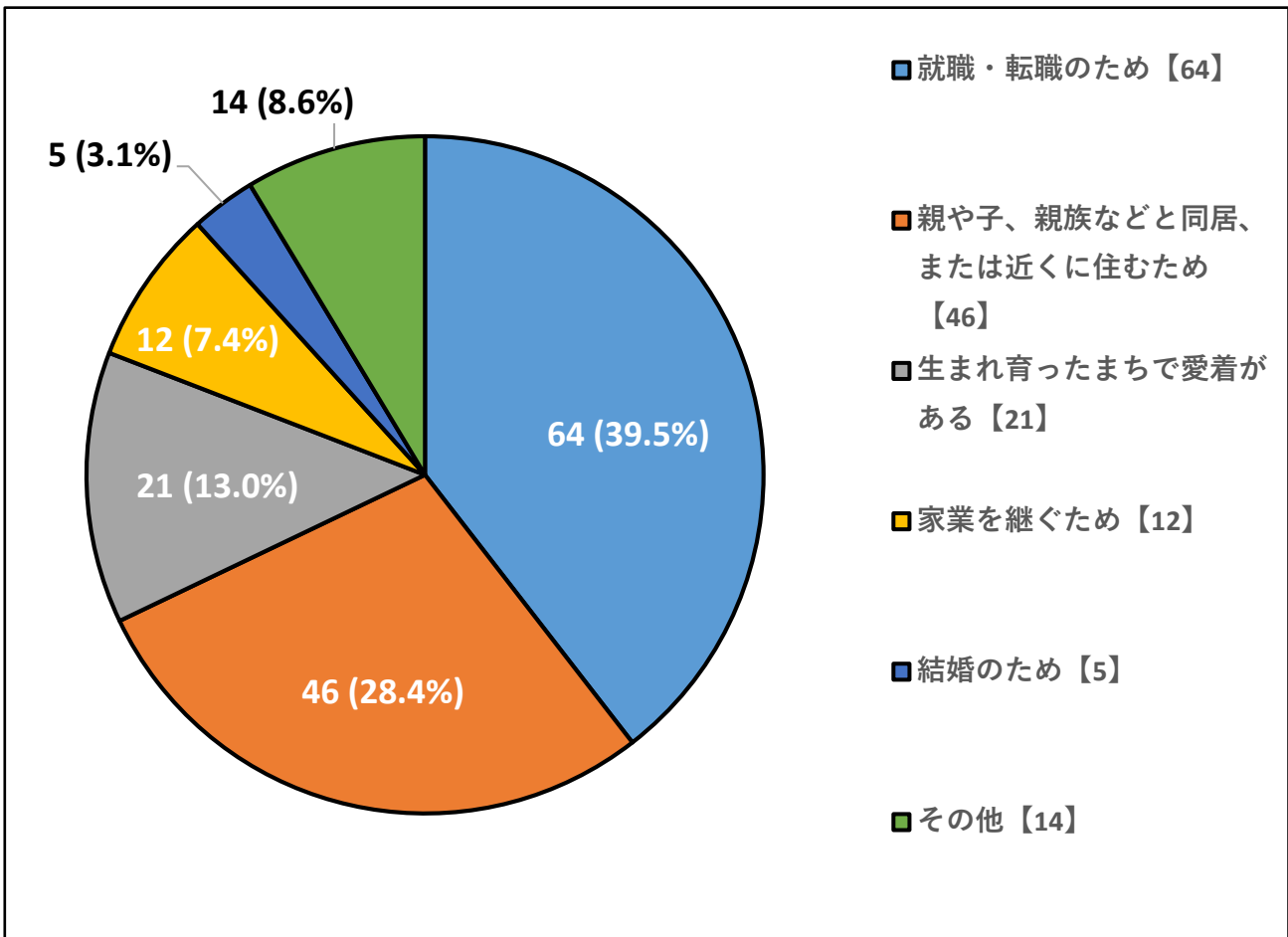
問5. 同世帯に収入のある方は何名いらっしゃいますか。(回答数286)



問6. 移住属性について教えてください。(回答数286)



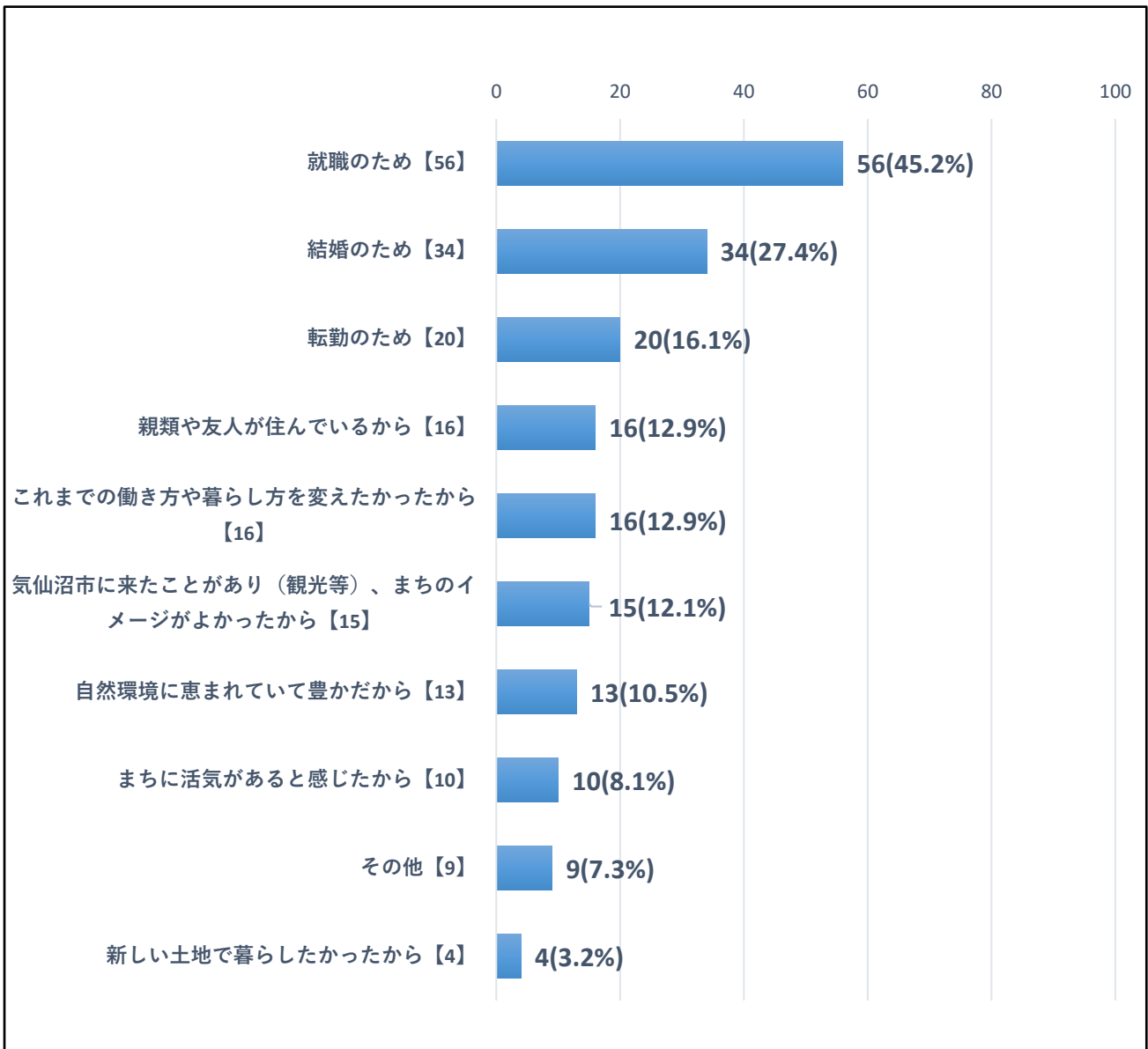
問7. 気仙沼市にUターンされた理由を教えてください。(回答数162)



問8. Iターン・Jターン向け移住前に住んでいた都道府県について（回答数112）

都道府県	市町村	県合計	回答数	エリア	市町村	県合計	回答数
北海道		3		東京都		21	
	札幌市		1		都内		4
	北見市		1		世田谷区		3
	江別市		1		練馬区		2
秋田県		1			八王子市		2
	大館市		1		足立区		1
山形県		1			江戸川区		1
	天童市		1		葛飾区		1
岩手県		13			帰宅		1
	一関市		5		江東区		1
	陸前高田市		2		杉並区		1
	盛岡市		1		台東区		1
	花巻市		1		豊島区		1
	大船渡市		1		目黒区		1
	唐の市		1		日野市		1
	金ヶ崎町		1	山梨県		1	
	洋野町		1		県内		1
宮城県		39		新潟県		1	
	仙台市		20		長岡氏		1
	登米市		3	石川健		1	
	気仙沼市		2		金沢市		1
	石巻市		2	富山県		1	
	東松島市		2		県内		1
	大崎市		2	静岡県		3	
	南三陸町		2		静岡市		1
	塩釜市		1		浜松市		1
	角田市		1		御殿場市		1
	名取市		1	愛知県		1	
	利府町		1		県内		1
	村田町		1	岐阜県		1	
	加美町		1		岐阜市		1
栃木県		1		奈良県		1	
	小山市		1		県内		1
茨城県		5		兵庫県		1	
	取手市		2		神戸市		1
	坂東市		1	島根県		1	
	古河市		1		県内		1
	つくば市		1	福岡県		1	
埼玉県		2			北九州市		1
	さいたま市		2	鹿児島県		1	
千葉県		5			屋久島町		1
	八千代市		2	沖縄県		1	
	市川市		1		宜野湾市		1
	浦安市		1	都道府県上位4 市町村上位4 ・宮城県【39】 ・仙台市【20】 ・東京都【21】 ・一関市【5】 ・岩手県【13】 ・登米市【3】 ・神奈川県【6】 ・世田谷区【3】			
	柏市		1				
神奈川県		6					
	横浜市		2				
	川崎市		1				
	横須賀市		1				
	松田氏		1				
	大和市		1				

問9. 気仙沼市に移住した理由・きっかけを教えてください（複数回答193）



問10. 移住前に気仙沼は「いいな」と思った、或は移住のきっかけとなった印象的な人・モノ・施設イベントなど（自由回答・回答数85）

回答数	7
・特になし	
回答数	5
・自然	
回答数	3
・海	
・海産物がおいしい	
回答数	2
・大島	
・食べ物がおいしい	
・ゲストハウス架け橋	
・結婚	
・みなとまつり	
回答数	1
【自然】	
・観光地として魅力ある港町	
・唐桑半島から見た海の景色	
・唐桑のきれいな海。暖かい人々。	
・港町の景色、人のあたたかさ。	
・海の近くで生活できるのが良い。	
・海がすぐ見える、新鮮な海の幸	
・自然が豊か。海産物がおいしい。美術館がある。	
・内陸に住んでいたため、海が見える日常が良いと思いました。	
また海産物等の食がおいしい点が良いと思いました。	
・気仙沼に来て初めて過ごした夏がとてもいい印象だった。特に内湾からの景色と海のすぐ近くに山がある所。仙台にも海水浴場やフェリーターミナルなどがあるがそれとはまた違う海の景色で感動した。海と山となつらしい快晴の空の景色が気仙沼のイメージとして残っている。	
【イベント】	
・インターン	
・季節のイベントが多いと思う。	
・海が見える日常、震災前のみなとまつり	
・唐桑町綱引き大会、唐桑半島の移住者たち。	

・「みなとまつり」のはまらいんや踊りや打ち太鼓に参加する市民の生き生きとした姿が素晴らしいと思った。

・わかものまちづくりサークルからくわ丸、からくわ丸主催の子ども向けイベントなど。

・幼少期から遊んでいた海や、みなとまつりが好きだった。そしてここ数年、ぬま大学というプログラムが活発である事も、知人のSNSを通して知り、若者のやりたい事に対して、活動しやすい環境にとっても興味があった。

・フラッグシップインターン、人に惹かれた、気候や海があることが地元似ていた。気仙沼に遊びに行くたびに「おかえり」と言ってもらえた。

・みなとまつり（皆が再会できるお祭り）、マイヤ（新鮮で地元食材に強い）、アンカーコーヒー（休日にくつろげる場所がある）、市観光課職員（大学の活動で大変お世話になりました）、気仙沼商会社長（顔がわかるOBがいる安心感）

【人や地域との関わり】

・人の温かさ。

・人のつながり

・佐々木莉佳子さんのおかげで気仙沼を知り、移住しました。

・先に住んでいた移住者の人たちや、地域の人たちの明るさ、優しさ、たくましさには惹かれました。

・本格的な移住前に復興支援で来ていたが、地域住民とのかかわりが居心地よかった。

・地域の人、チャレンジする経営者の思いに惹かれました。

・チャレンジしている人が多い→自分も気仙沼であれば自分のやりたい事ができそうと思ったから。

・菅原工業社長

・地域の人や郵便局、支所の窓口など、とても親切な人が多くて良いなと思った。イベントではみなとまつりがとても賑わっていて印象的でした。

・観光推進機構の山田桂一郎アドバイザーからのお声かけがきっかけです。地域戦略、クルーカードの取り組みがないと移住はなかったと思います。またMINATOや唐桑丸なども移住するにあたりとても助かりました。

・よそものを受け入れる風土がありそうだったこと、移住センターがあること。

・町並み、人の温かさ、そんなところが良いなと思いました。

・震災ボランティアで活動し、継続的にまちに関わりたいと思った。

・まるオフィスの皆さん

【施設】

・鹿折金山資料館

・ゲストハウス架け橋、移住定住センターMINATO、街のそれぞれの人（先輩移住者）、街のママさん、実際に気仙沼を案内したこと、歩いたこと。

・PRIZM、移住定住センター、内湾の風景

【まち、生活環境】

・まち全体の雰囲気。

・内湾のピア7の建物とその周辺の飲食店街、八日町、三日町のあたりの風景に惹かれました。ここで私自身が生活しているイメージが湧いて、わくわくしていました。（初めて来たときには人との交流はできていません。）

・南三陸町に比べ商店が多く、職場にも近い。

【食べ物】

・気仙沼ホルモンが美味しかった。移住者が繋がりやすい環境がある。

・海鮮系の料理が良いなと思った。

・食べ物がおいしい、天気がいい。

【家庭事情】

・結婚の為、移住。移住支援への相談体制に助けられました。

・田舎で子育てしたかった。

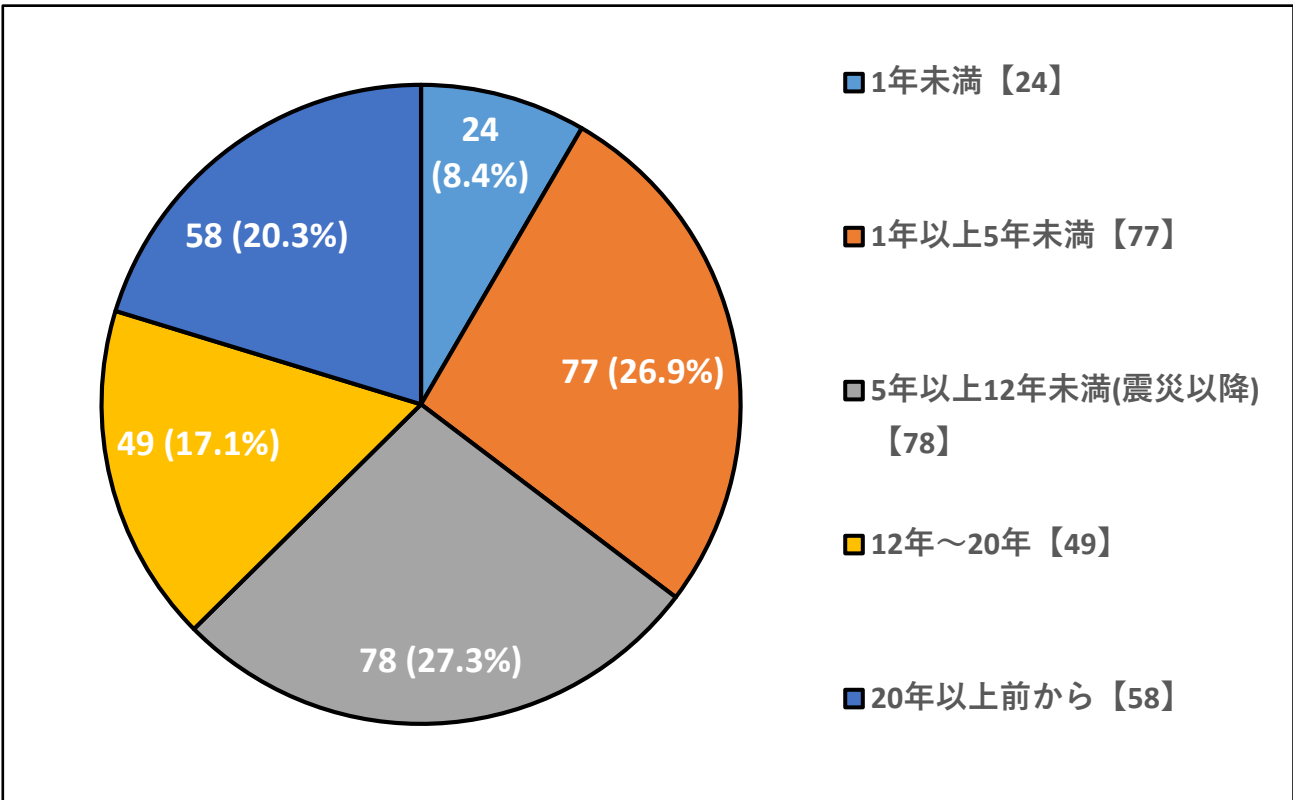
【仕事】

・就職で社員寮があるから。

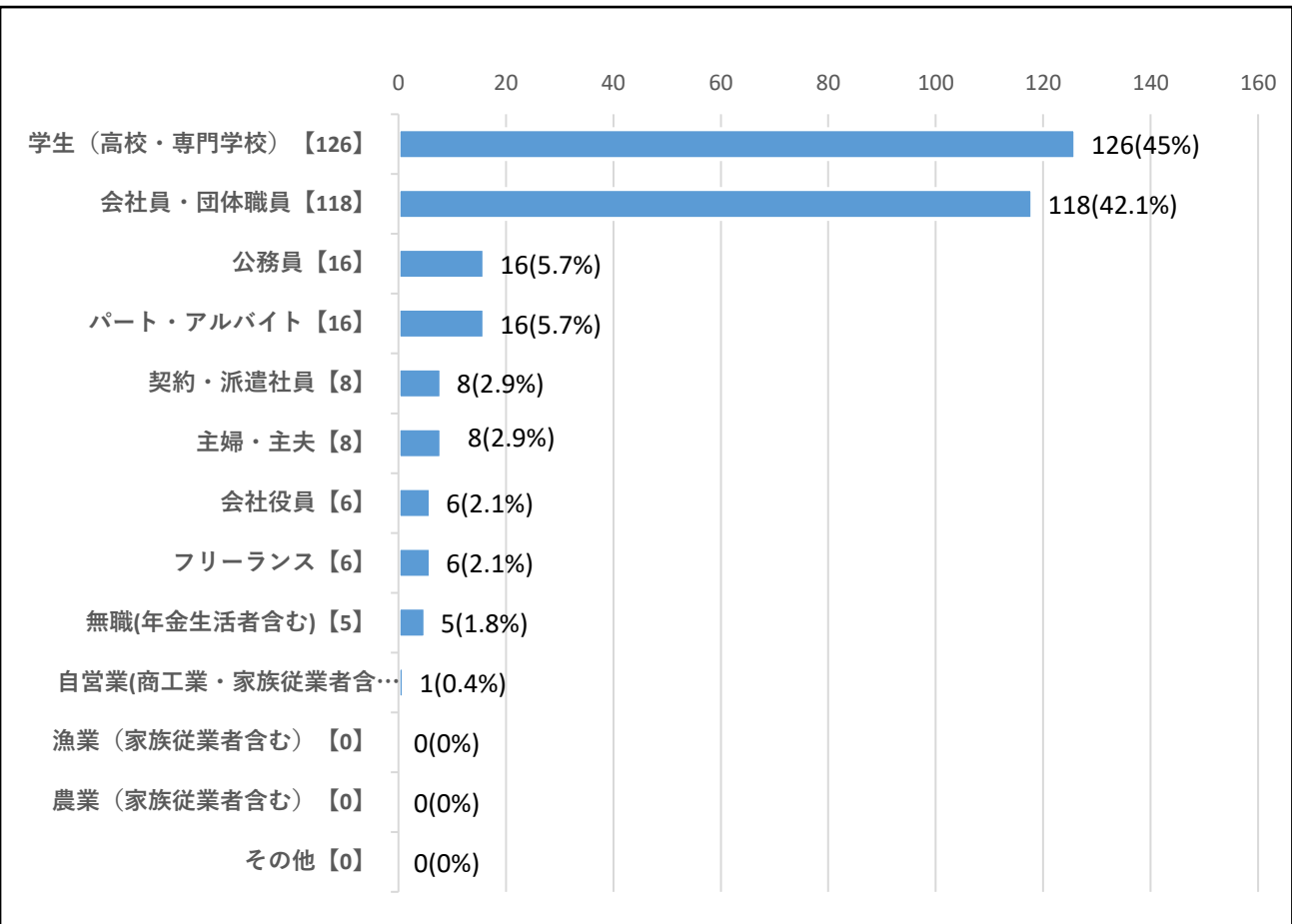
【その他】

・復興のためにできることがあるのではという思い。

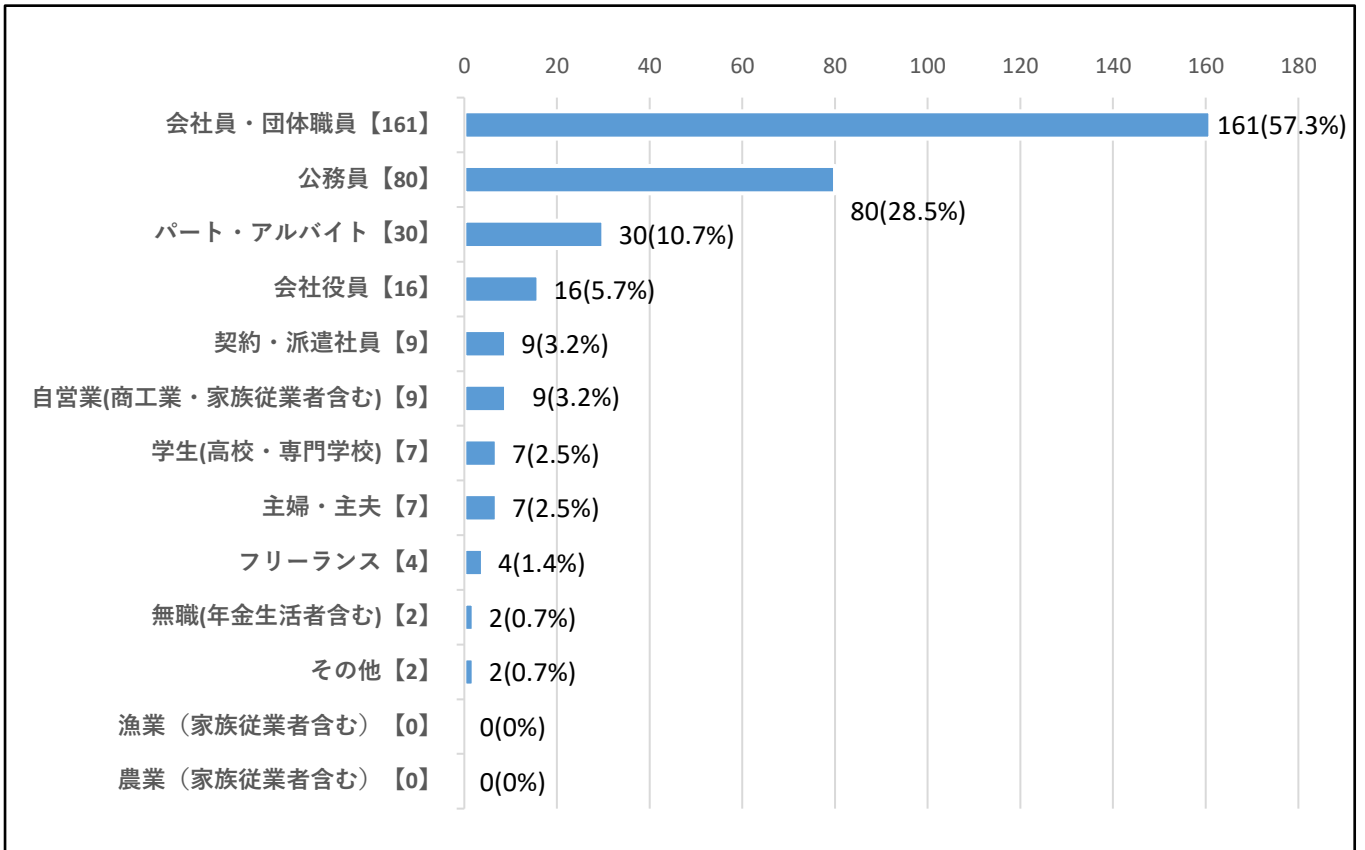
問 1 1. 気仙沼に移住して何年目ですが



問 1 2. 気仙沼市に移住前のご職業を教えてください。(複数回答310)



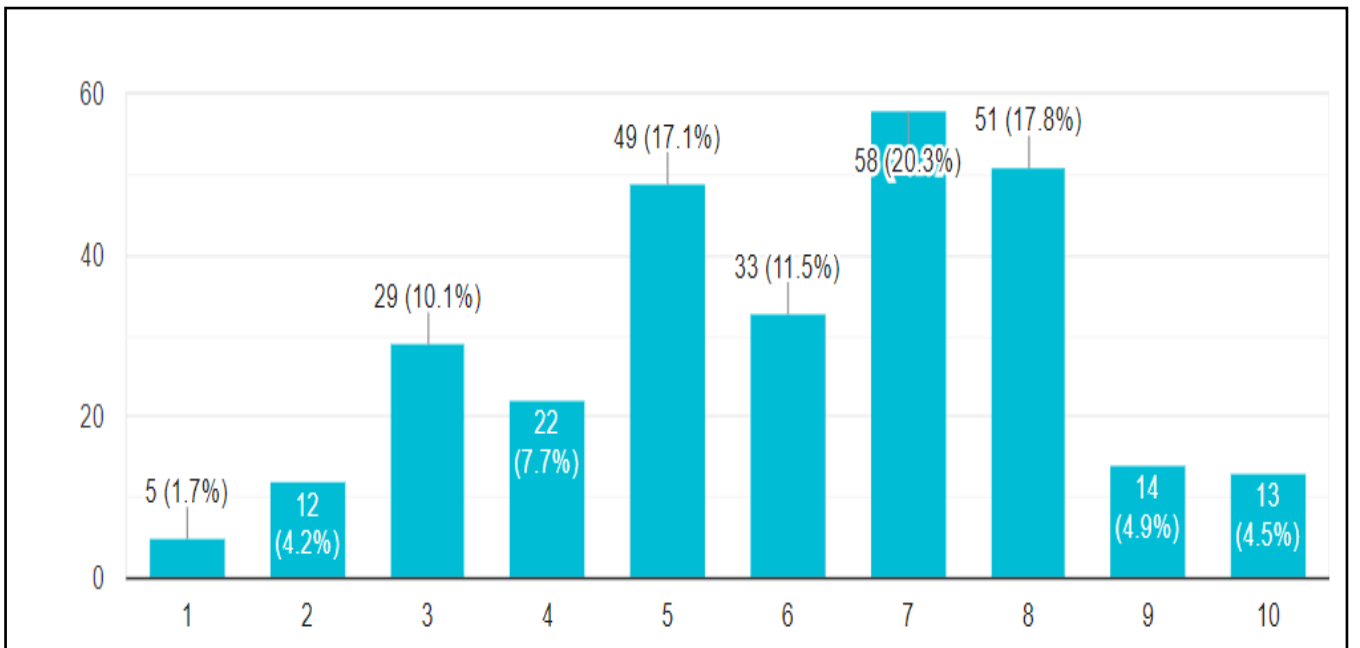
問 1 3. 気仙沼市に移住後のご職業を教えてください。(複数回答327)



問 1 4. 気仙沼市の生活の満足度は 1～10 の数字の中で何点ですか。



286 件の回答

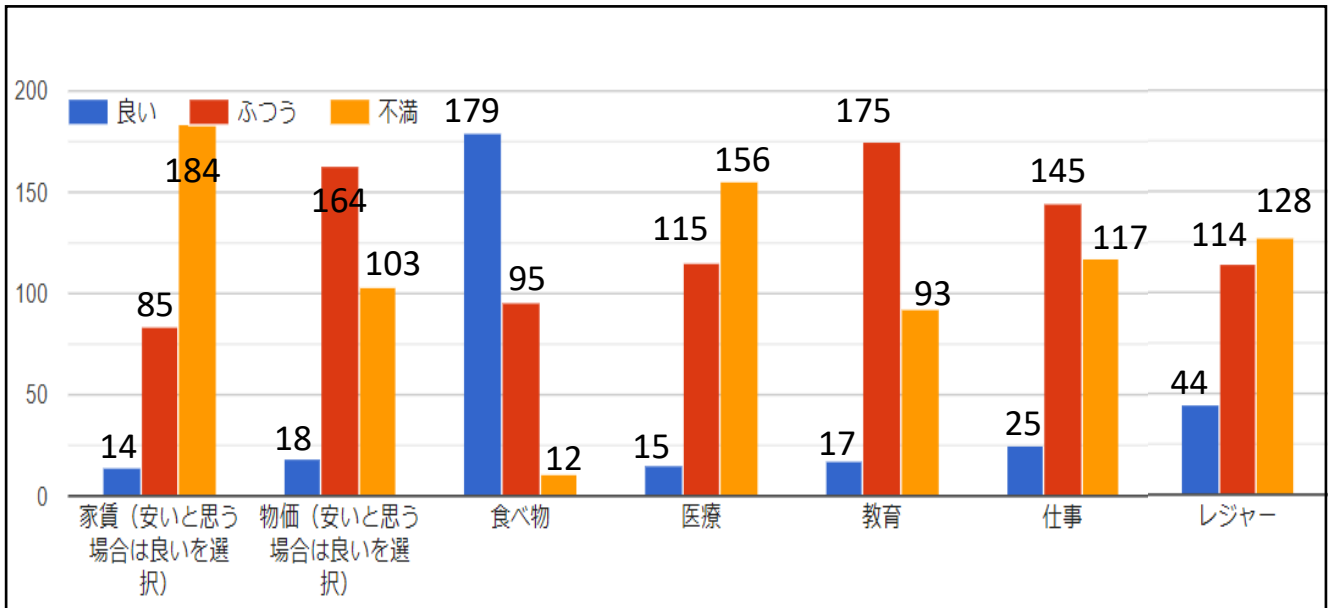


悪い

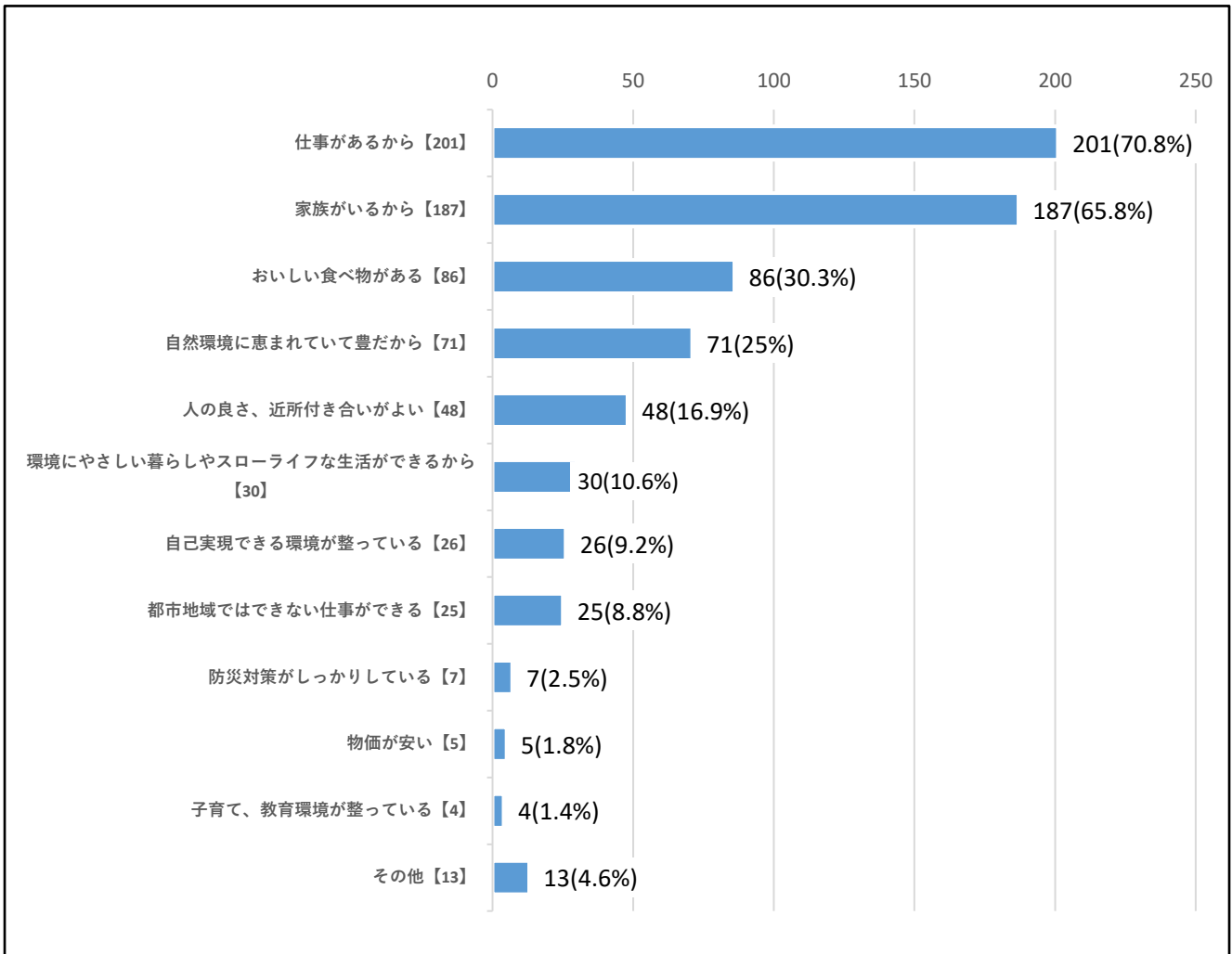


良い

問15. 生活環境については、どのように思われますか。各項目毎にお答えください。



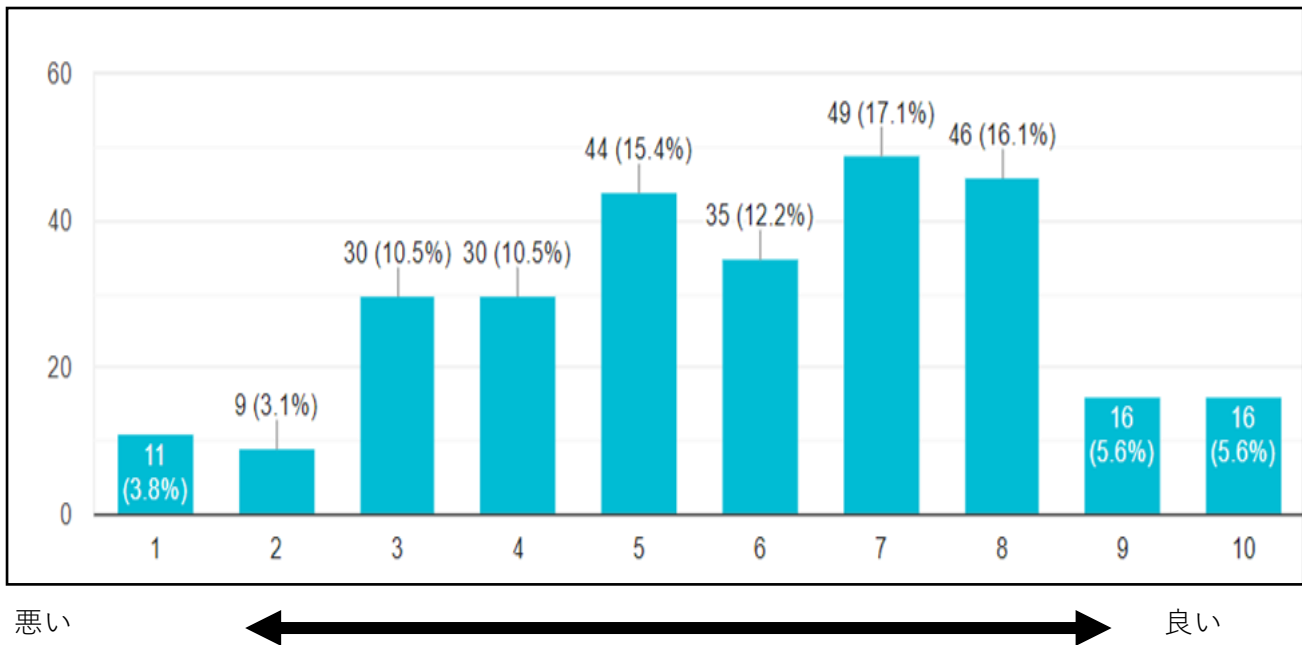
問16. 気仙沼市に住み続けている理由を教えてください (複数回答703)



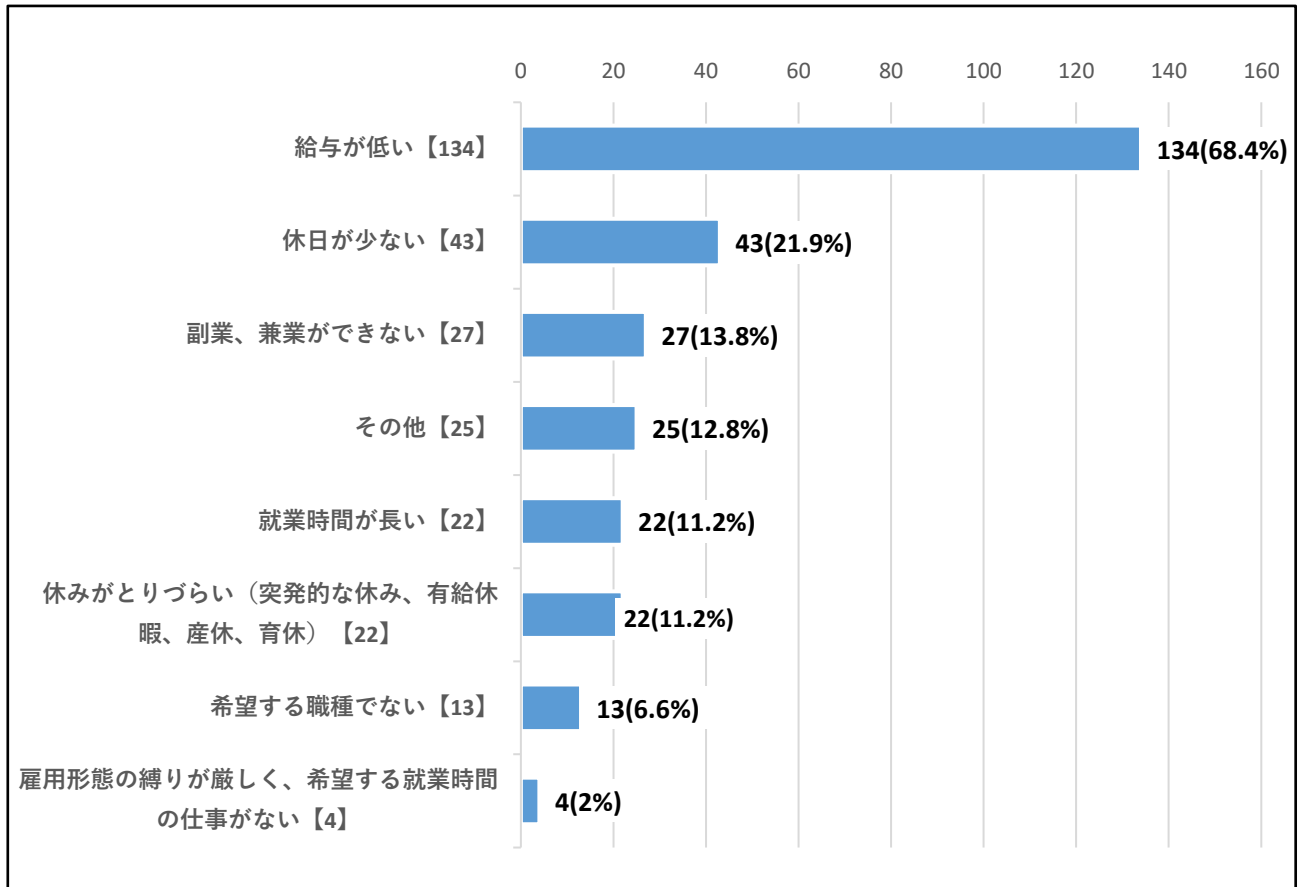
問17. 現在の気仙沼市での仕事の満足度について教えてください。



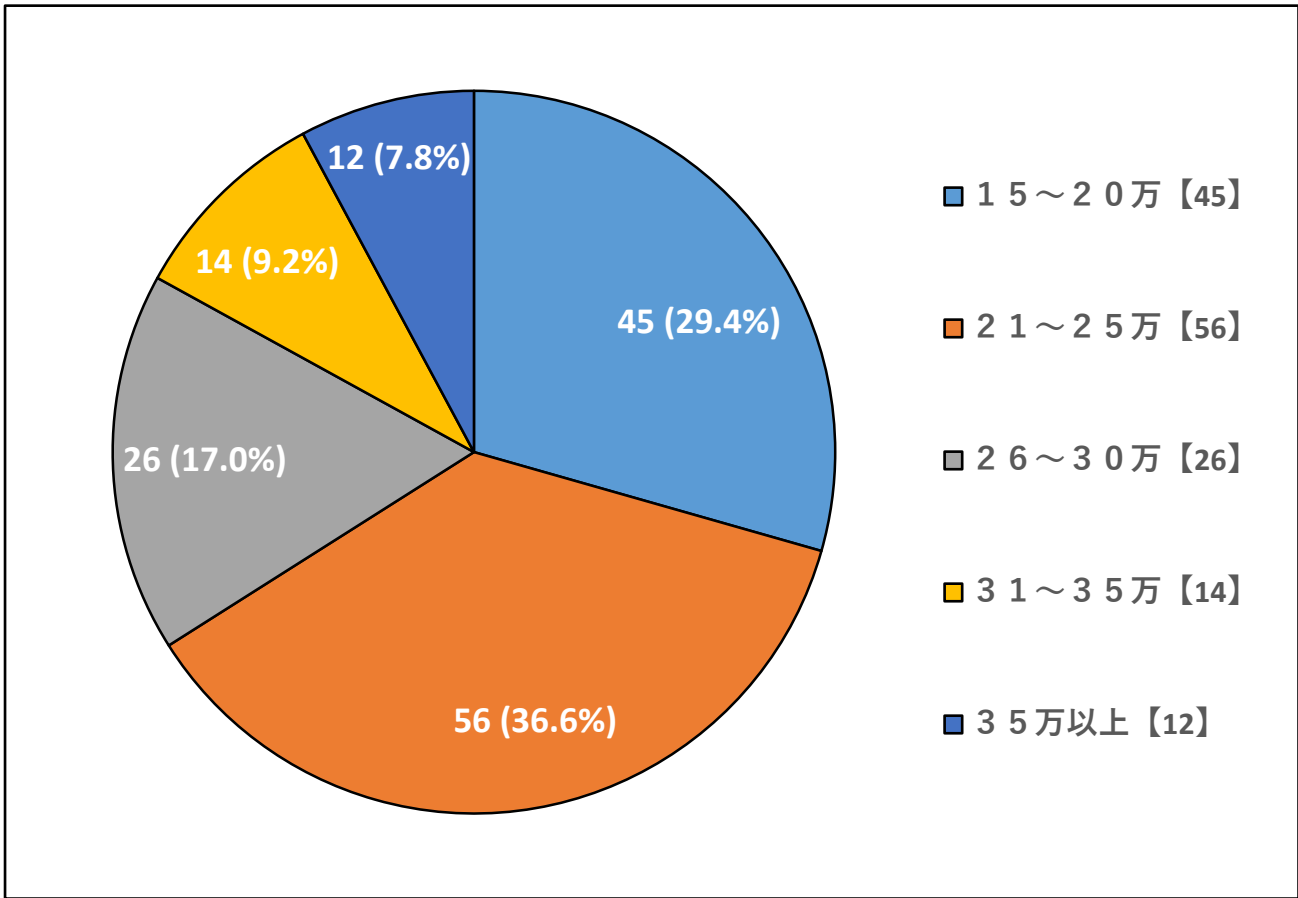
286 件の回答



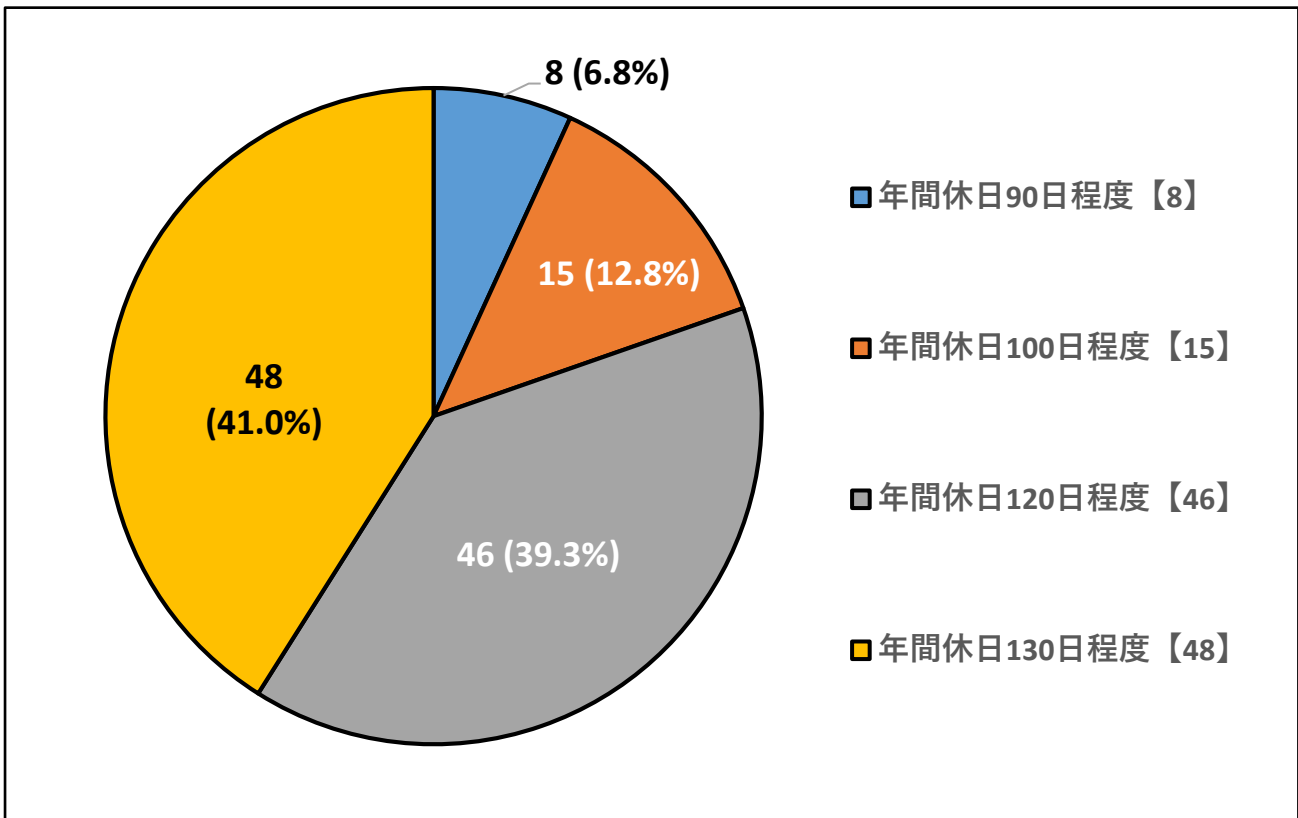
問18. 現在のお仕事に不満がある方、どういった点が不満ですか。（複数回答290）



問19. 給与に不満のある方。付帯的に手取りでどの位必要ですか。(回答数153)



問20. 具体的にどのくらい休日がほしいですか。(117)



問 2 1. 具体的にどのようなお仕事を希望ですか。(回答数 2 1)

回答数	3
・ IT関係	
回答数	2
・ 事務職	
回答数 1 ・ 分類不可	
・ 年齢制限のない事務職	
・ 営業職	
・ 看護	
・ 大手民間企業	
・ 作業療法士	
・ 自営の飲食店、伝統工芸や仏師	
・ 給与に見合う仕事	
・ 将来性があれば	
・ 今の仕事内容で休日や時短が理想。	
・ 常に成長できる環境がある仕事	
・ 一次、二次産業の中でも、自分が成長でき、キャリアが想像できる職	
・ 水産関係以外の多様な工場、会社等。水産でも先進的な養殖会社。映画館などの文化的な仕事。	
・ 法令順守やCSRをしっかりと押し進めている会社、現在資格取得の為に勉強をしているので活かせる仕事。	
・ 特に何かというよりはつぶしがきかない仕事を選んでしまったと後悔している。	
・ ずっと下っぱ仕事しかしていない	
・ 不満はない	

問 2 2. 住んでみて、気仙沼市の良さはここだな、と特に感じる部分を教えてください。

回答数	57
・自然が豊か	
回答数	42
・海/海の幸	
回答数	28
・人/人のつながり・人の優しさ	
回答数	27
・食/食べ物がおいしい	
回答数	20
・穏やか/ゆったり/のんびり/のどか/スローライフ	
回答数	9
・景観/ロケーション/観光	
・漁業/漁師	
回答数	4
・雪が少ない	
回答数	3
・移住者に優しい/移住者コミュニティがある	
・渋滞が少ない	
・治安が良い	
・チャレンジできる/チャレンジしやすい土壌がある	
回答数	2
・家族/親族が近くにいる安心	
回答数 1 ・複数回答 ・分類不可	
(偏りがあるものの) 前向きな人と出会う場や機会が多いこと。自然や風習が無理なく日常の中で大切にされていること。外(県外、市外)から来る人と関わる機会が比較的多いこと。	
イベントの回数が多く、休日など外出するきっかけができる。また団結力が強いイメージがある	
サーフィンができる。バレーボールができる。農業ができる。	
ツルハが多い	
とりあえずなんでもある。	
ぬるま湯のような間柄や時間の余白。	
ホヤぼーやがかわいい 生活するには気候は過ごしやすい	
家と職場の往復のみで外出の機会もほぼなく、考えてみましたが思いつきませんでした・・・す	
外部の人間に優しいところ	

企業間のつながりが深い。
気候が温暖で海がきれい且つ、栗駒山、焼石岳、早池峰山にも比較的近い。
気仙沼ならではの良さはない
居酒屋などでの雰囲気
近隣中核都市に依存し過ぎていない地域経済環境
故郷なので、家族、親戚、友人がいる。隣近所との関係も良い。海の幸が豊富。
仕事やイベントやりたいことを実践できる環境がある
市民の地元愛が強い（良くも悪くも）
自己実現できる、仲間や応援してくれる土壌がある。20?30代の移住者が多い
自治会が機能しているところ
自分の気持ちに無理しないで住むことができる
若者が挑戦してみたいことや中高生の課題研究やマイプロジェクトの取り組みが活発であるこ
商業施設が混んでいない。
小規模の町村のように個人活動がある程度全体に影響でき、かつ、おおよその物が揃うだけの人
職住隣接、自然環境の良さ
心の豊さを得られる。
世代属性問わずチャレンジしている人が多い、学びの場が充実している、自己実現をしやすい、心が深く揺れ動く瞬間が多い
生活圏として一つにまとまっており、仕事、買い物、レジャーなど、気仙沼市内だけでおおむね完結することができ、生活しやすい。三陸道の開通により、生活しやすさはさらに良くなっている。
生活圏にある程度の買い物ができる。
全部。まちも人も自然も私にとっては相性の良い街、というだけの気がします。
地元愛が強く、結束力があるように感じます。人柄も良く親しみやすい。
挑戦できる雰囲気、失敗してもよい土壌
挑戦を応援してくれる
釣りがすぐできる
程よい開発度
熱量。まちや周りをよりよくしたいと思っている人が多い。
農林水産資源が豊か
排他的な部分が少ないところ
魅力的な人がたくさんいるところ。人がいい。季節の食べ物がいい（魚も野菜も）
魅力的な人が多いことと、食がおいしい、景色が綺麗なところだと思います。
面白い人がたくさんいること。移住者若手同士のつながりが強い。コワーキングスペースやカフェが充実していて、大学の講義や課題、仕事を進める上で良い環境。
友人との付き合いがある。
良い意味でゆるい

問23. 気仙沼市に住んでいて、課題・問題・将来にうけて不安に感じることを教えてください。

回答数	39
・人口減少/少子高齢化/過疎化	
回答数	16
・医療/福祉/医療体制への不安	
回答数	15
・仕事が続くか不安/仕事の将来が見えない/仕事の選択肢がない/自身のスキルアップ	
回答数	13
・交通環境の悪さ/車がないと生活できない	
回答数	12
・給料が低い/待遇面が悪い/産休・育休が取れない/貯蓄ができない	
回答数	11
・子育て/教育の選択肢がない/補助・助成・サポートがない	
回答数	7
・娯楽が少ない/レジャー施設がない	
回答数	6
・家賃が高い/住む場所（アパート等）が無い	
回答数	5
・子育て/教育の選択肢がない/補助・助成・サポートがない	
回答数	4
・水産業の衰退/資源の枯渇	
回答数	3
・買い物するお店がない/気軽に寄れない	
・不安しかない/考えないようにしている	
回答数 1・複数回答	
【医療関連】	
医療 老後	
医療、教育水準が低い、子育てするには難しい環境だと思う。	
医療、子どもの教育	
医療、子ども人数、過疎化	
医療・介護施設が充実していない 免許返納後の移動手段に不安がある	
医師の対応の悪さ	

医療機関に憤りを感じる事多い。歯科は痛くても見てもらえず、月曜から痛いのに日曜の当番医に見てもらって下さいと言われる。歯の痛み我慢できますか??仕方なく一ノ関の歯科に行って見てもらっています。一時間かけて、冬も通います。気仙沼市立病院にもさまざまな不満あります。気仙沼大嫌いです。仕方ないからすんでます。医療体制少しななんとかありませんか?患者の立場になって見てくれる病院ありますか?アンケートも結構ですがなにも変えるつもりないのだったら聞かないで下さい。真剣に答えたこの時間が無駄なので、諦めて住んでおります。ちなみに医療体制が悪いので不安で一人しか育てられませんでした。夜間の対応も悪いので、以上です。

医療体制、交通事情

医療体制、少子高齢化

医療体制。若者が住み続けたい魅力があるか。

医療体制：診療科目が少ない。

産科がなくなると困る

【生活】

ガソリンが高い。若い人がいなくなる。生活できる金額の仕事がないのだろうか

家賃が高い。子育てへの助成が少ない。

家賃の高騰、賃金の安さ、公共交通機関の貧弱さ(高齢者の移動手段)

家賃やガソリン代が高く、最低給与では貯金ができないことで、将来に起こるであろう結婚や子育てが今の状態で賄えない不安がある。空室のある復興支援住宅等に高齢者のみならず、給与が低い若者や移住者の方でも、入居できるように整備を整えてほしい。

家賃や光熱費の高騰、人口の減少により過疎化していくのではないか。

家賃や物価が高い、ずっと住み続けられないと思う

家賃や物価が高いのにお給料が低いため、生活に不安がある。

家庭を持つのは不安(金銭面)

【若者・移住者】

若い人が集まるようなお店が少ない

若い人が少ないこと

若者が住みたいと思えるまちではない

若者が住み続けたいと思えない町です。給与が安い、職種が少ない、レジャー施設が少ない、アウトレットモールのような商業施設も無い。漁業が盛んな町というのは伝統でもあるので大切か

若者のUターンが難しい(生計の面で)

若者の市街への移住による人口減

若者向けのレジャーが少ない、隣の家まで遠いのに道幅が狭い、外国人実習生や労働者を白い目で見る気質

若年層の流出。魅力的な就職先の少なさや教育機関の不十分さが影響していると思う。

もっと若者が増えてほしい

【教育・家庭・金銭面・仕事】

家庭を持つのは不安(金銭面)

学校の統合、子どもの教育

学校教育の選択肢の少なさ、高校を卒業したら市外に転出することが避けられなさそうなところ

結婚できるか。

現在はありますが、将来家庭を持った際に、小学校・中学校が整備されているかが気になります。

今の仕事が今後も持続的に続いていくのかの不安。

今の状況では、家庭を持つことに対して不安が大きい。

子供の遊びのスペースが少ない、気軽さがない

【複数回答・未分類】

【経済】 1. 次のような企業が多いと思います。①給与体系が不明瞭な企業。②福利厚生が脆弱な企業。③創業者一族以外は経営者になれない企業。④生産性の低い企業。

2. 階層間の格差が大きいと感じます。

3. 大卒職場が少な過ぎると思います。

【風土】 1. 閉塞感を感じます。 2. 経営者以外の一般市民は声を出せない雰囲気があります。

3. 気の強い人が多いと思います。 4. 階級社会です。

【暮らし】 物価が高いです。家賃が高いです。給料が上がらないです。パチンコ屋が多過ぎます（=享乐的なのか諦観なのか、いずれ生産的とは言えない生活を送る市民が一定数存在する）。

【その他】 身近なところに「アメリカンドリーム」的な事例を見ません。「公務員」を羨ましいと思わざるを得ないところにやるせなさを禁じ得ないです。

①民度の低さ。結局、賢い若者は大学に行ってそのまま戻って来ないケースが多いので致し方ありません。

②地形。平地が少なく海に向かって多数の沢があり、沢ごとに集落があるので、道路や水道などのインフラ整備もバスなどの交通体系も非効率。平らなまちが羨ましい。コンパクトシティ化できればよいのですが。

①路線バス等の公共交通機関について。

年々バス停や運行数が減少しているため、現時点で市内中心部へはもちろん最寄りのスーパーへのアクセスも難しいと感じます。今はまだ足も動き車も運転出来ていますが、家族や自身が老年になった時を考えると不安です。（自宅が僻地であることと、運行コストと利用状況の兼ね合いに苦慮されているのは理解しております。）

②仕事について。

水産のまちなので必然なのですが、事務の求人が少なく水産加工またはそれに関連する専門職の求人がほとんどです。体調等個人的な特性により立ち仕事や大きな音が鳴っている場所での業務が難しいため、仕事探しが難航している状態です。事情により地元を離れることも出来ず不安を感じています。（個人的な事情による不安なので市で何かできるかと言われたら悩ましいですが、一応お伝えします）

かつての商店街が、過疎化している 気仙沼駅前に、食事出来る場所が、少なく、観光客が。食事難民になってしまっている。気仙沼駅前は、寂しい感じがします

このまちで長く住むメリットが思い浮かばないこと（住み続けたいとは思わないこと）

これまでの町の構造のまま進んでいくことは、時代の変革に置いていかれる可能性が高いため、変化を恐れずに大きな構造改革を行っていききたい

課題：医療と福祉 問題：人が少なくせまいところなので何をするにも監視されている感じがするところ 将来に向けた不安：給与が低い割りに物価が高いので老後の生活

会社規模が小さく社員への還元が少ない。 会社役員はベンツ、従業員は軽自動車

楽しめることが今後あるのか不安

気仙沼のことは好きでも、企業に入社して雇用条件の問題で長く続けられないターン者が気仙沼を離れていくことを何度か目にすることがあり、不安に感じます。

気仙沼の地元企業に勤めると、給与等の関係から将来、子どもを産んで家族を養っていけるか不安が出てくると思う。気仙沼ではフリーランスや起業した方も多く、その事業で生計を立てている方も多くいるように思うが、誰しもがそう思うわけではなく、地元企業で働くことを優先し自分のやりたい事をあきらめる場合もあると思う。

気仙沼市は基礎賃金が全国より低すぎます。それと外の企業を受け入れません。なので考えが色々な面で固執しています。色々な意見交換があっても良いと思います。以上を踏まえ人口も増えません。

急速に進む人口減少に行政や産業、市民が対応できるかどうか。

給料は安い賃貸の家賃がどこも高いと思う。また、気仙沼市はほぼ通勤に車が必須と思うのでその分のお金もかかり、使える生活費が少なくなってしまう人が多いと思う。

教育・医療・福祉

教育環境、医療体制、高齢化による人手不足等人口が減少することによる不安が大きいです。

近くに大きな駅等、交通機関が充実しているわけではないのに、家賃が高く一人暮らししにくい。

決定権発言権のある人の年齢層とジェンダーの偏りが強いこと。

県・市・市民が一体となった大胆で画期的な事業及びイベント等、活性化が必須

現実と理想の乖離があると感じます。背伸びせず、身の丈にあった生活を送り、ここで暮らす人が幸せに思えるまちになるといいと思います。

個人的に年齢を重ねても住みやすいかどうかについて不安を感じることはある

高齢者の人口に対して介護・医療施設のキャパシティが少ない

今のままでは将来、家族を養えるか不安

今の仕事が今後も持続的に続いていくのかの不安。

今の状況では、家庭を持つことに対して不安が大きい。

今後の仕事のキャリア、仕事の選択肢、ガソリン代

仕事・医療体制の不満と不安、移動手段が車のみが現実的で免許を返納したら移動できない。

子供の教育環境と進路選択肢の少なさ、医療機関の選択肢の少なさ、就職・職業選択肢の少なさ

子供の進路が極端に少ない。とくに高校。自分の子には選択肢として、仙台圏の高校へ進学も進める。 移動手段が自家用車しかないので、そういった維持費を考慮すると結果都市部で暮らすのと出費は大差なく思う。

市民は自分の生活に精いっぱい、市全体の生活への関心が低いこと

自身の健康問題と親の介護
実家の家族のこと
周りがどんどんやりたいことを実現させていくなかで、特にやりたいことのない自分に焦りを感じることもある。
周辺地域とのつながりの希薄さを感じる
習い事の選択肢の少なさ
十分な医療確保、お金
出産育児に対しての理解が少なく職場で上司に気軽に相談できない
出生数が少ない。子供が育っても、仕事に限られるため、市外へ出ていくので、高齢者ばかり残ってしまう
将来に不安がある。予想する不安の種は決してネガティブな感情ではなく的中するだろうと思う。
将来的に「(周りと比較し)若いから」という理由で、地域の行事や困りごとなど、なんでも取り組むべきと依頼されそうな気がする。
少子高齢化、人材不足、商店街の衰退、教育レベル、ITリテラシー、漁獲量の減少、若手の台頭
少子高齢化。若者が希望する就職先が少なく若者が流出してしまう。市内の給与水準に合っていない家賃水準(下手すると仙台の方が安いかもしれません)。
少子高齢化医療福祉交通インフラ賃金結婚育児など
昭和の時代まで漁業で成り立っていた閉鎖的経済地域である為か、有能な市内出身者がUターンしてきても、地元経済圏として排他的な対応をしているように見受けられる。 市を含め一部の市内経済界の方は彼らの行動を積極的に迎え入れているように見受けられるが、地元経済圏としては過去に近隣地域からは自立した豊かな経済圏だった名残からか、歓迎しているようには見えず、スタートアップのみの応援支援だけに留まっているように見える。震災後、多くのスタートアップ者が居たように感じているが、現在どれだけのスタートアップ者が残っているのだろうか。
新しい物好きで、不満のあるところを探す癖がある。
人口を増やす。子供以外にも。アンケートなどをとり、希望する店などを、なんとか誘致する。 歩く人の姿が多く見えるような工夫。人の姿は活気につながる。
人口減、子どもたちの教育、子どもたちの遊び場
人口減少・少子高齢化による担い手不足、インフラ・医療福祉サービスやコミュニティなど、暮らしの機能維持が難しくなること。
人口減少が深刻。医療や福祉も悪化傾向。救急医療体制も十分とは言えず、親や自分の老後に不安がある。子育て環境を含めて、仙台圏への移住も真剣に考える必要がある。
人口減少と医療提供体制
人口減少と仕事の減少
人口減少によって商店が減り、生活が不便になること
人口減少による教育問題。少人数クラスでは体験できることが少ないのでは。
人口減少による産業の縮小、医療、教育
設備が十分に整った病院が少ない。
全国チェーン店が少ない。外食や洋服の購入は仙台、石巻まで移動している。

全体的に賃金が高い。文化的な施設、価値観がない。男権社会の昭和世代の価値観を持つ人の声が大きく、当たり前のように若い世代にも浸透してしまっている。
男性の雇用環境（休日が少ない、給与が安い、育休産休が取得しづらい雰囲気）
地域集会所を含めた公共施設が多いため、維持管理の費用がかさむことが予測されること。人口が減少していることで、産業や地域の担い手が確保できないのではないかとということ。
地元企業の存続、人口減少
地元住民が多く県外からの流入する人が少ないように感じる
地震などの災害 仕事（公務員の仕事の変化）
中央との教育・賃金格差が広がること
超少子高齢化で、この先介護や病気治療が出来なくなるのでは？という不安。労働人口が減り、地元企業の存続問題や大手企業、市外企業の撤退でライフラインに支障が出て、まちが機能しなくなるのではないかと不安など。
賃金が低い、年間休日日数が少ない、経営者の子どもを除き、労働環境が悪すぎて移住しにくい。
賃金が低い中で家賃や物価が高く、特に若年層に負担が大きい。
賃貸物件だが、このまま賃貸とするのか家を建てる等するのか、住居への不安がある。
転職などを考えた際、次の仕事が見つかりづらい。（職種の幅が狭い）
転職をすることができるのか不安。
働ける世代の減少
同じ職種なのに給料が安い。教育費が不安。
特別気仙沼でという不安はありません
年金
年老いた時の不便さ
排他的な考えがあると感じる。同じ市内なのに、まだ気仙沼町や松岩村、新月村のようなくくりでコロニーがある。唐桑や本吉などは気仙沼ではないと思っているのでは？せっかくモーランドや牡鹿半島のような目玉があるのだから、もっと活用してほしい。モーランドを小岩井農場のようにブランド化したらいいと思う。
これまでの町の構造のまま進んでいくことは、時代の変革に置いていかれる可能性が高いため、変化を恐れずに大きな構造改革を行っていききたい
物価が高いのに給与が安く、若い人が住みにくい。一関市の様な大きな工場や会社が出来ればいい。
物価高、内需型から脱却し、外貨を稼ぐ仕組み作り、大学、専門学校の誘致、交通、気仙沼駅を中心とした街づくり。また、その導線で内湾、南気仙沼、田中などへの導線づくり。
文化を感じられることが少ない。
閉鎖的であり、物価等が仙台並みに高い。
閉鎖的である点。
閉鎖的な古い価値観が未だに勢力の大多数を占め、このようなアンケートもただの「パフォーマンス」に感じる。既得権のある人々にとって変革は、これまでの旨味を失うことを意味し、本当に変える気があるのか、個人的には懐疑心を持って見守っています(笑) これまでの経験上、「よそ者」の考えなんぞ、本気に取り入れる気があるとは思えない。
防災、行楽場所がない

労働人口減、納税者減による影響

老後の生活

老後の生活環境は整っているのかどうか（病院・商店など）

一度気仙沼を離れた人が戻って来たいと思う点が少なく感じます。都会の利便性とのバランスが難しいと思いますが、若者が定着するには不可欠と感じます。

映画館がない。子供を産める病院がない。復興世代の先輩移住者と若手移住者の乖離がある気がする。チャレンジできるが、成長につながる場合が少ない？

何処に行くにも、不便である。

家賃やガソリン代が高く、最低給与では貯金ができないことで、将来に起こるであろう結婚や子育てが今の状態で賄えない不安がある。空室のある復興支援住宅等に高齢者のみならず、給与が低い若者や移住者の方でも、入居できるように整備を整えてほしい。

山間部地域の過疎化

仕事、教育

ハラスメントや差別が多い

まちの方向性、これからどういったまちづくりを目指すか。財政基盤。

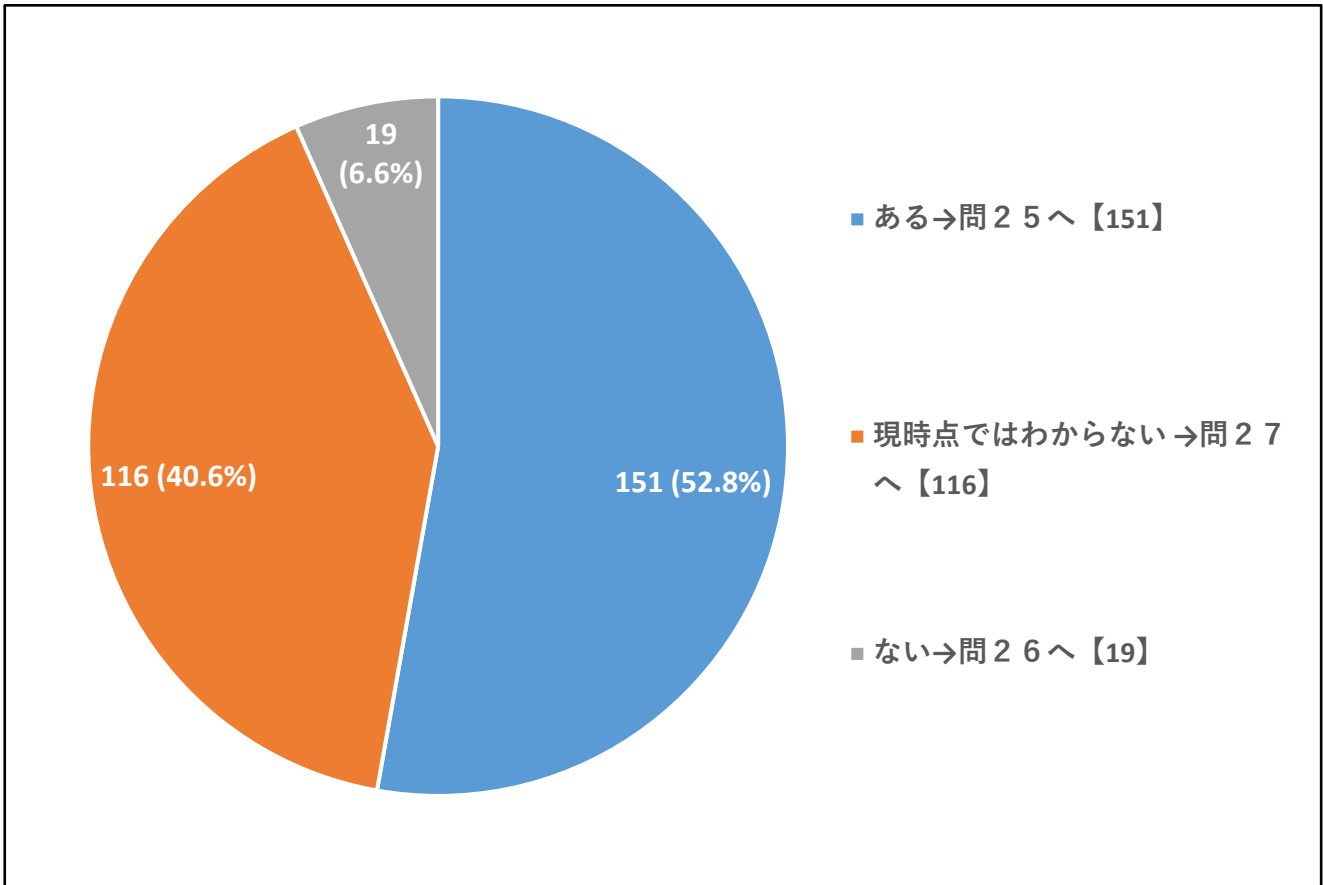
悪い噂やデマの伝播が凄まじく早いところ

意思決定者の多様性の欠如。コロナ禍の影響による飲食店へのダメージ。

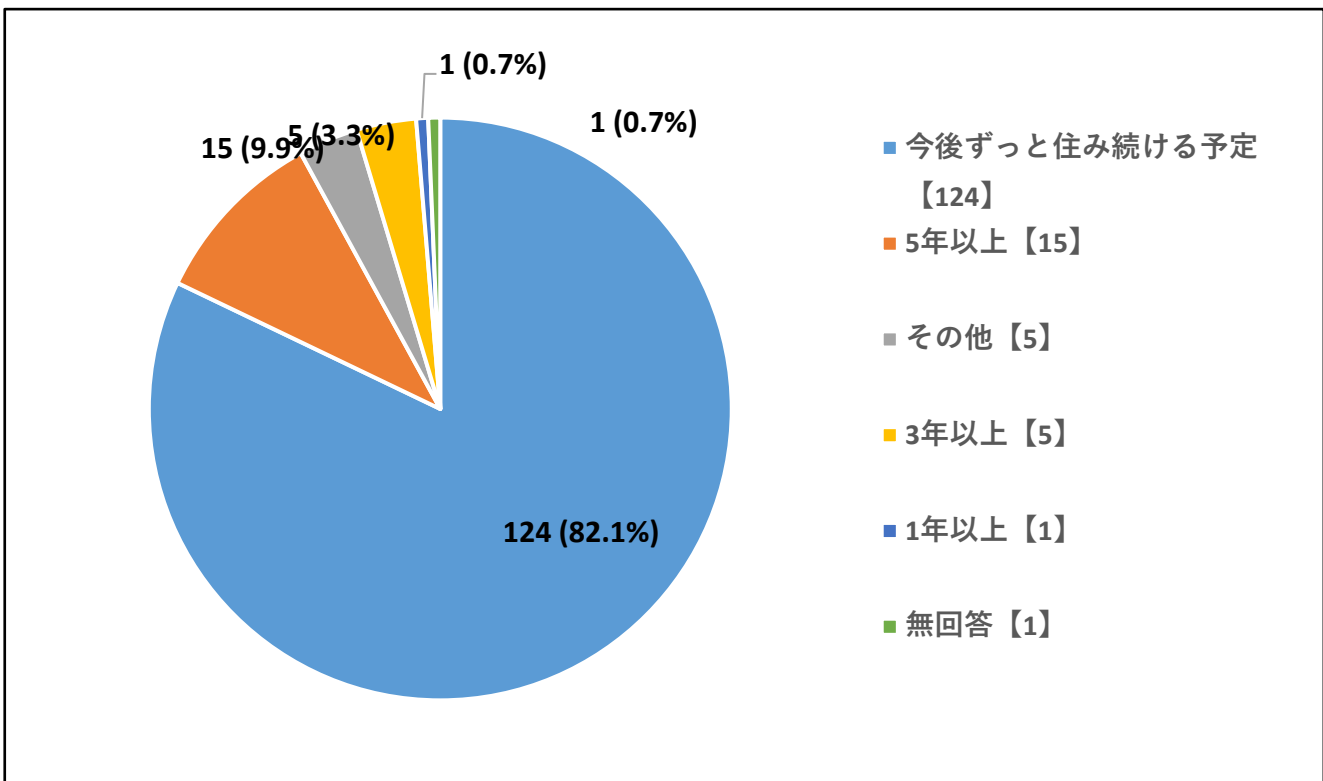
移住者のつながりや、移住者の集う拠点などはあるのですが、気仙沼に震災以前から長く住む方や年配の方との接点がほとんど無いように思います。地域おこし協力隊の仕事をしていても、この部分が課題だと感じています。

気仙沼に興味がない

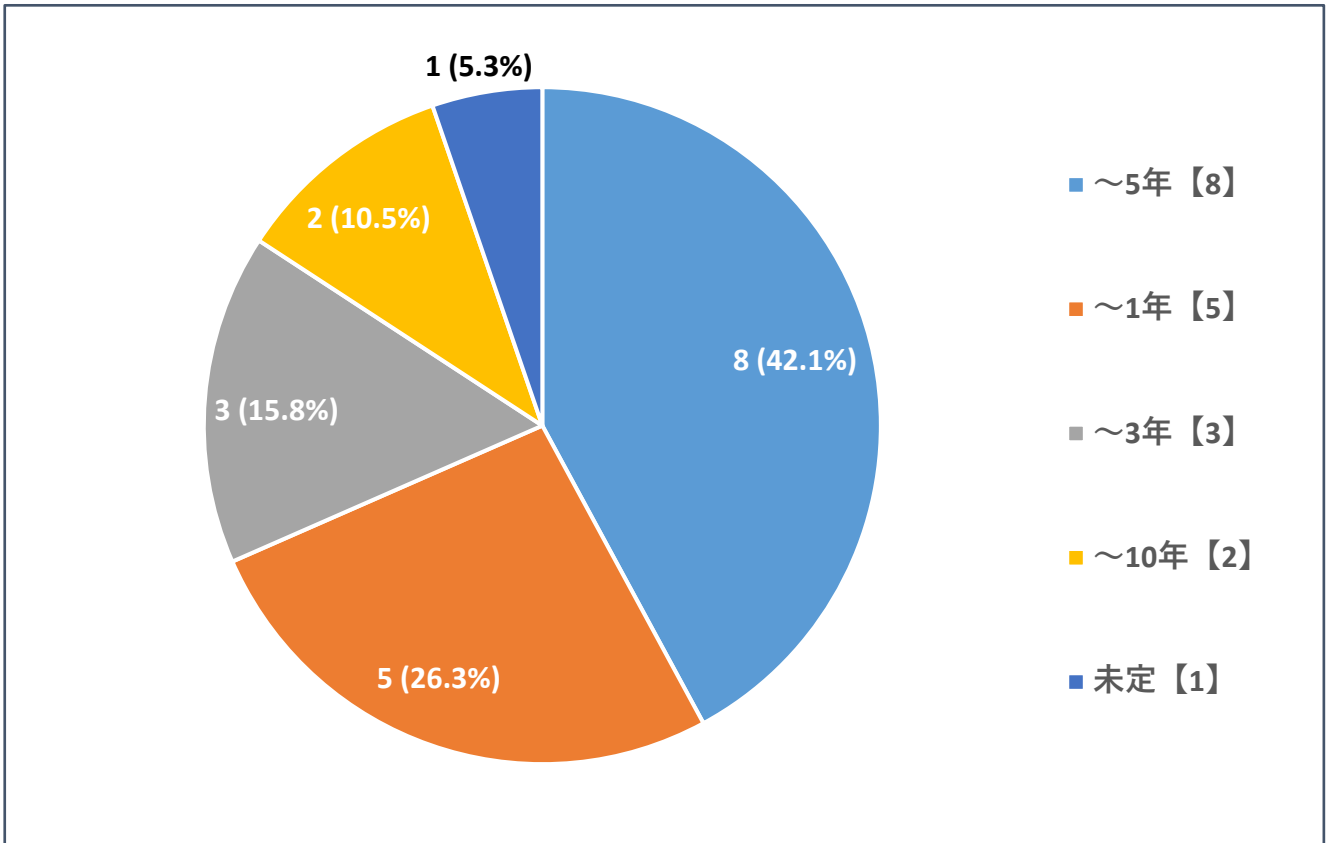
問24. 今後気仙沼市に定住する意向はありますか。(回答数286)



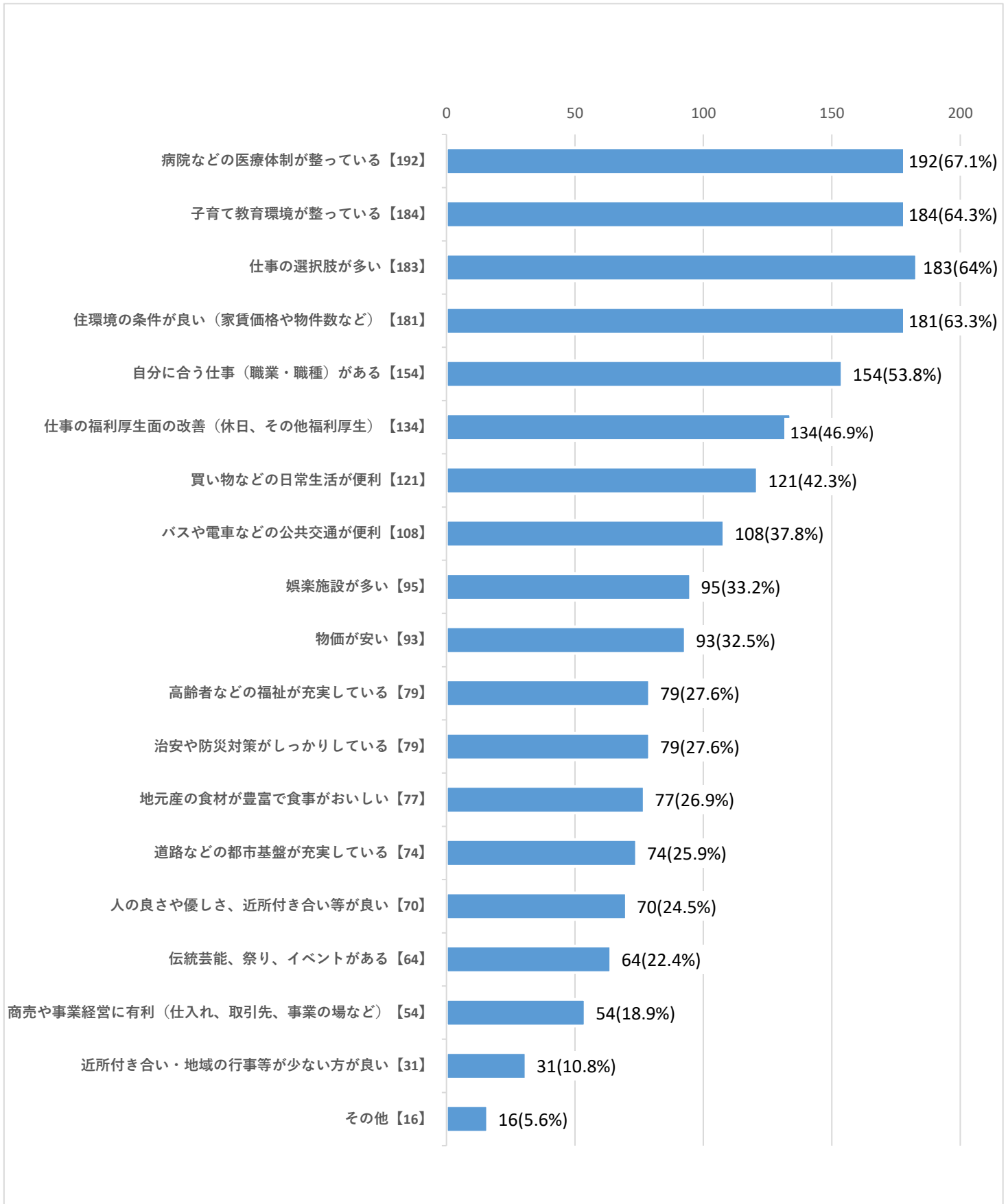
問25. 問24で「ある」と答えた方、何年以上お住まいの予定でしょうか。(回答数151)



問26. 問24で「ない」と答え方、どの位の期間お住まいの予定でしょうか。(回答数19)



問27. 気仙沼市に長く定住してもらう、またはU、I、Jターンなどの移住者を増やすために必要なものは何だと思いますか。（複数回答1989）



問28. そのほか気仙沼市の移住・定住に関し、ご意見等があればご自由にお書きください。

(回答数87)

「移住」と簡単に言いすぎている印象がある。
「被災地」から脱却し、新しい気仙沼を創る時にきていると思う。
<ul style="list-style-type: none">・移住者に迎合する政策よりも、既存の住民がより暮らしやすい街にする方が優先されるのではないかと思います。・社会福祉の充実も必要かもしれませんが、移住・定住者の増加を目指すのであれば子育て世代への支援や子どもの教育・医療負担への補助を行う方が優先されると思います。
<ul style="list-style-type: none">・究極的には、国レベルの話になるが、移民受け入れしかないと考えます。・子育てしやすい環境は、何より優先すべきと思います。・マニアックなくらいの特徴を打ち出すのも一案かもしれません。
医療体制恥ずかしくないですか？
<ul style="list-style-type: none">・受け入れる側にも準備と言うか、こういうキャンペーンで呼び込んでいますよ、ここに来ますよという周知があると受け入れに気持ちの余裕が持てるのではないか。・移住者ともともと住んでいる人との間に不公平「感」が無いようにお願いしたい。不要な確執が生まれないように配慮してほしい。
①大学進学の際の支援として、卒業したら気仙沼に帰ってくる条件の奨学金制度とかあったらいいのでは？
②気仙沼に水産大学や研究所などあったらいいのでは？
アパートの家賃が案外高い
お店を増やしてほしい
こういうアンケート結果が現実に少しでも移住・定住に繋げてほしい
コミュニティや環境は充実していると感じるが、労働条件などは改善していく必要性を大きく感じる。自身が理解し難い変化やチャレンジを恐れて、現状のままゆるやかに事態を悪化させることを良しとしている構造を変えていく必要がある。
ちょっと逸れますが、人口が減ってもそこに暮らす人が幸せに暮らせる仕組みを考えるのも必要かと思います。
とにかく家賃が高い、が、今後は入居者減で淘汰があるかと思われる。空き家、空き物件だらけになるのではないか。

とにかく家賃や飲食料などの物価が高い。

震災前の地理的不便さ故の輸送料上乗せが直接的な原因だとわかっているが、現在では三陸道路等の整備もされ、陸前高田市や大船渡市、室根地域と比較しても気仙沼市の物価が特筆して高い理由はもはやない。

自由経済ゆえの値付けなので、自治体等が直接的に行動できることはないと思うが、お裾分け文化には入れない移住者にとっては、現金収入と現金支出だけが全てである。

地方自治体内の企業故に給与が低く設定されているところに、高物価では夢や希望を持って移住してきても、

生活が成り立たない。

宮城県の住民税が高いのはネットで調べればすぐにわかる事なので、それでいて仙台市等と同じ税率額であるならば、気仙沼市を移住先として選ぶ優先度が高くなる理由はないと思う。

移住先を探す為に入居先をネットで探しても、盛岡市や仙台市と変わらない家賃設定に驚いて、移住候補から消えてしまうだろう。

移住一時金の支援を行っている事は知っているが、なぜ東京圏限定なのだろう？

住民票と生活実態の確認等の手間は増えるが、何千人も移住者が来る訳ではないのだろうから、住民税の免除の方がよっぽどインパクトがある移住アピールになると思うのだが。

はやく抜け出したい

水産関係だけに力を入れてきた結果ぎこのザマです。内湾まちづくりといっても平日は閑散としていて専門学校も生徒数がなく結果失敗です。これは市長はじめ携わっている関係各所の一新がなければこの課題は解決しません

ほぼ日のサイトで気仙沼に移住してきた方のインタビューを見て、ずっと住んでいる私にはわからない魅力を感じてくれている人がいるんだと感動しました。私は気仙沼の限られた部分しか知らないなので、地元をもっと知る・勉強する機会があれば自信をもって気仙沼のいいところを発信できるかなと思います。もうしているかもしれませんが、もともと住んでいる人に向けた働きかけも必要かなと思います。

まずは、生活の糧について、最低でも他所程度まで引き上げないと勝負にならないと思います。加えて、ワークライフバランスにも配意しないといけないと思います。さらに、自己実現できる環境も必要であると思います。上記のことは基礎であり前提です。それがあつた上で何らかの「売り」を設けなくてはいけないと思います。基礎のないまま「売り」だけをアピールしても、キャッチボールもできないのにファインプレイをやろうとするようなものです。まずは足元から。そのためには、各社とも生産性を上げる工夫が必要であり（持続可能な企業となるためにも必須）、市はそれをしっかりとサポートすることが必要であると思います。それこそがあるべき官民連携だと思っています。この連携が機能したとき、移住・定住の取組がより効果的になっていくと思います。

もう少し何に対してもオープンにしてほしい。バスの運行などもっと分かりやすくしてほしい。

病院の探すのも大変だった

特に眼科は特に少なくて大変だった

スマホなどで検索出来たらもっと楽だと思った。

移住や出生の「数」を増やすことだけに注力するのではなく、気仙沼に興味・関心を寄せてくれる人や市外の気仙沼出身者に気にかけてもらえる（場合によっては移住の選択肢となりえる）ような街になってほしい。

移住後新たな発見の毎日に楽しく充実した日々を過ごしています。
地域としては山海の幸に恵まれ、新鮮であることに違いないのですが、値段も高く移住者は恩恵を受けにくいです。海産物に限っては気仙沼以外の食材が極めて乏しく寂しいです。
真新しいものがなくなり移住から定住・日常に変わったら、より関東での生活が懐かしく戻りたくなるような気がします。

移住後新たな発見の毎日に楽しく充実した日々を過ごしています。
地域としては山海の幸に恵まれ、新鮮であることに違いないのですが、値段も高く移住者は恩恵を受けにくいです。海産物に限っては気仙沼以外の食材が極めて乏しく寂しいです。
真新しいものがなくなり移住から定住・日常に変わったら、より関東での生活が懐かしく戻りたくなるような気がします。

移住者と分けるのはどうかと思います。移住者ではなく気仙沼市民が住みやすい街にするために必要なことを考えるべきだと思います。結果、住民が増えるのではないのでしょうか。今のままでは移住者という言葉に良いイメージを持ってない市民が増えてしまうことも仕方ないと思います。

移住者同士でも、他の地方と比べて家賃や物価が高すぎ、お給料が低いという話が良く出ます。また、福利厚生面でも休みを取りにくい体質の会社が多いと思います。また、年休を取得するのに本来理由を言う必要はないと考えます。

遠くから人を連れてくる一番は、やはり結婚だと思うので、市主催の婚活パーティーなどを他の市町村にもアピールする・・・？

家賃が高いこと。一人世帯ならまだしも、家族世帯にとって負担が大きい。

家賃の高さが1番不満です。

家賃は改善が必要だと思います。補助になると物価が適正にならない可能性もあるので、全体的な引き下げを実施して土地建物の流動性を高くして、企業、転居しやすい風通しの良さが重要だと思います。

また、気仙沼らしさは漁業を基幹としながら商工業や飲食サービスなどの事業所多様さだと思うので、起業や新たな産業への投資は不可欠だと思います。

また、多拠点やフリーランスの募集や受け入れ施設を整備することで住民、半住民の多様さ担保があると良いと思います。

海外に移住したい

外国人にとっても住み心地の良い街づくり

街に活気が感じられないのが、とても残念です。地元の人達が地元のモノを中心にワイワイ集まっていろんなものを買って、食べて、遊べる場所が欲しい。まずは地元の人達が喜べる場所を！それが観光にも繋がっていけば良いなど…

観光資源をより活性化し都市機能の向上が必要。

基本的には、“まちじまい”の方向で考えた方がよいのではないのでしょうか。病院もスーパーも減り、享受できる民間サービスも行政サービスも減っていくことは明らかであり、せっかくいいまちだと思って移住して来ても、いずれ住みづらくなってしまいます。それでも、漁業とか気仙沼ならではの産業に対して、都会の需要があるのであれば、最低限の人口は残るのではないかと思います。

気仙沼に移住・定住することは事例もたくさんあり楽しいことのように思えることが多いかもしれない。しかし、本当に移住してから感じる違和感はあるし、思い通りにいかないことのほうが多いはず。

そこで投げ出すのではなく、粘り強く生活することで自分の成長を感じることができるしその気づきが気仙沼に移住する良さだと思う。

逆に移住の楽しい部分だけを体験させることは、本人のためにも気仙沼のためにも長い目で見ていいことではないと思う。

全てが揃っているから安心なのではなく、足りない部分を本人で工夫しながら生活できることが気仙沼の強みだと思います。

気仙沼の食に関する様々な地域づくり、ESDなどの環境教育などを広く全国に発信すると良いと思う

気仙沼は1度でも訪れれば多くの魅力を感じられる町だと思うが、実際に移住・定住を考えるにはやはり魅力的な仕事があるかが重要だと思う。

気仙沼は人を惹きつける魅力がある土地なのは間違い無いです。あとは現実的に続けるための収入と支出がバランスの良い状態（ちゃんと貯金もできて金銭的な不安がない状態）になると、定住者は増えていくと思います。収入アップは賃金アップだけでなく、副業を認めるなどでもいいかと思います。住まいは社宅やシェアハウスなど、民間アパート以外に安く住める物件があることも大事だと思います。

気仙沼市でやっている移住・雇用や子育て関係の支援が上手に伝わっていないと思います。外へ向けての発信は勿論必要ですが、市内に住んでいる人へも情報が行き渡るともっと良くなると思います。

気仙沼市は他の市に比べ、ここがずば抜けていると感じる事が無いので、わざわざ気仙沼市に住む必要があるのかなと感じているのが正直な所です。若い方にとっては、仕事の選択肢の少なさ、親にとっては子供を遊ばせる場所が少ない等、改善していれば定住にも繋がると思います。

休みがほしいいいい。

給料が少ない。三陸自動車道が出来て地元で買い物をしない人が多い。
田舎なのに人と人の繋がりがなくなっている。

給料が低いのではなく、収支バランスが悪いんだと思います。

給料を上げれば良いのではなく、頑張ったら稼いだら給料が上がるし稼がなかったら給料下がるということがお互いに可視化されている健全な労使間の契約が必要なんだと思います。

漁業、観光業依存一辺倒から脱却し、医療、福祉、就業、子育て環境が充実した、普通の人が普通に生活して幸せになれる街にしたい。

現在空室のある復興支援住宅等に給与の低い若者世帯や移住者も入居できる方が良い。
現状家族がいなければ気仙沼には住んでいない。 むしろ気仙沼から移住する人に補助など支援があってもいいレベル。
高齢者に優しいまちづくりも良いが、現役世代が定住したいと思う環境づくりをしていかないと先細りになると思う。もっと現役世代を大事にしてほしい。大事にされていないと感じる。
高齢者向けだけでなく一般の人にもお食事を提供できる宅配弁当屋とかあると良いと思います。
今のままでは厳しいですね・・・ 先進的な自治体になる必要がありますね
今後は下がるのが想定できるが、現在のアパート家賃は高すぎると思う。
今後も多くの移住者が気仙沼に来て、様々な活動をしていかれると思います。 そのような人々が関わり、協力し合い、相乗効果を生み出して、個人では無理なことでも人々が力を合わせて大きな課題を乗り越えていけるように 異業種間のつながりを作るためのプラットフォームが必要だと感じています。
根本的な問題に背を向けても、人口増にはつながらない。
歳祝いや同窓会、また、特に若い人が集まるイベントに対しての補助や 若者限定の習い事の教室（カルチャーセンターのイメージ）を市で運営するなど、若者が集いやすい環境が必要かと思う。 そして、大人は必要以上に干渉せず、温かく見守る程度でよいと思う。 また…医療関係者の皆さんも大変なのでしょうが、病院が混みすぎで、通院も付き添いも半日以上かかるという状況の改善は望めないのでしょうか？ どこの街もこうなのでしょうか？
三陸道が通り交通の利便性は、以前よりは良くなりましたが、降りてまで気仙沼市を観光するかと言うと、見る場所が少ない（娯楽含め）。空き家が沢山あるので、それを活用してみてもどうでしょうか。例）古民家を改築しカフェ+子供が遊べる＝若い人が集まる。 職場では、水産関係・福祉だけでは衰退する。アトラクショナルな場所が有ればと思います。釣り場も、色々案内したり季節の観光場所の案内等もっと発信してはと思います。
仕事が無ければ移住はできないので、「思いやイメージ先行」ではなく、仕事やお金の面を充実させる必要がある。例えば大手企業のオフィスや工場があって、条件が良い仕事がたくさんあれば黙ってても人が来る。ただ、その場合には「濃い人間関係」が好きな人ばかりではないと思うので、「濃い人間関係」が無くても暮らせる仕組みも必要。
子ども団体が充実しているから、そこをもっと押して欲しいと思います。病院がなくて、大変だった。
子育て支援には力を入れ始めていると思うが、そもそも出産するための体制をもっと整えてほしい。産婦人科や産院が無さすぎる。産後のケアをもっと手厚くしてほしい（産後ドゥーラなど）

子供にかかるお金の不安が減れば、移住、定住し結婚、出産、子育てといったライフイベントを安心して気仙沼でできると思う。

そのために、地域の賃金の底上げや子供にかかるお金（医療費以外）例えば教育にかかるお金の負担が減ればだいぶ違うと思う。

市外への情報発信も必要ですが、学生等一旦市外に転出する方が気仙沼に魅力を感じ、それを語れるようになることが必要だと思います。市外で口コミで拡散して、それに魅力を感じた方が移住してくるのではないかと思います。市内の方が市外の方を連れてきたいと思えるまちなにしていくことが移住のきっかけになると思います。定住につなげるためには一定の生活のしやすさ等が必要だと思います。

若年層の移住には、市内で生活するイメージがつくように、市内の魅力を発信するとともに、収入と生活費にどれくらいかかるのかを示すことができるとよいのではないかと思います。

私の場合、実家は秋田県内ですが、中学・高校は気仙沼だったので、移住するにはハードルが低かったです。仕事もやりがいがあるので満足していますが、移住するには、安定した生活基盤と医療や教育というのは必須かと思っています。

社会インフラ投資と維持管理に相当の費用が必要になるので、地区ごとにでも移住エリアを絞ったほうが、将来的に費用対効果も高まるのではないかと思います。条件を抽出してマップ化するとわかりやすいかもしれませんね。

若い世代が住みやすい街づくりや

子育て（?高校生）が安心してできる環境を整えていただきたいです。

若い世代の交流の場を広げる

若者が戻ってきたくなるよう、就職先の選択肢や子育ての支援が多くあるといいと思う。気仙沼は震災で大きな被害を受けたまちというイメージがついて回るので、安心して住めるよう、災害対策もしっかりした方が良いと思う。

若者が流出しない社会（学べる、働ける、気軽に住める）を目指していった方が良いと思います。

女性が普通に働くこと自体難しい会社がほとんど（事務員として働かされることが多く当然のように女性の給与の方が低い）。主婦が働くことに関してネガティブな価値観の世代が一定数いる。文化的、教育的な価値観の優先度が低すぎる。施設や制度以前に、いまだに昭和的な価値観の人が全世代に多すぎるので生きづらく感じる。例えば公的機関や役員・理事の男性率が100パーセントであったり、中央公民館主催の「転入奥様のための講座」のネーミングがいまだに変わらないこと、子育て関連の資料で当然のように男性（父親）を上にかかればならないこと、意識が低すぎてその場にいる誰も気づいていないことが問題だと思います。

商業施設を増やしてほしい。

子育てのしやすい町にすることで、若い人が増えて労働人口も増えると思います。

少子化の対策が必要、子育てしやすい環境の整備が必要だと思います。

色々な施策やイベント等あると思うが、関係者には情報が入っても、その他の市民には情報が入っていないことが多い。

まず、現在住んでいる気仙沼市民の生活水準(生活満足度)をあげて、もっと暮らしやすい環境を他自治体を見て見習っていくべきではないでしょうか。

震災後定住した方やUターン者だけでなく、気仙沼で暮らし続け、働いている人をもっととりあげるべき

人口を増やすには一関や古川辺りの街の規模・賑わいが必要だと思う。都会にはない長所、例えば自然豊かとか人付き合いがあるとかで勝負しようと思っても、若い人はなかなかそういう点にはメリットを見出さない。若い人を呼ぶにはある程度の娯楽施設は必要。チェーン店が多ければ多いほど若い人は惹かれると思う。

人口増加への市の政策は根本から間違っている。いくら補助・助成をしても仕事や賑わい、その地ならではの出来る理由が無いと無理です。

まず、気仙沼市で生まれ育った人たちから気仙沼でやって行こうと思える街作りが必須です

生活水準が向上すれば、人口、移住者、Uターンは勝手に増えます。

他の自治体と比較して、特に便利な街ではない。かといって、極端に僻地でもない。その隙間に価値があるのではないかと思います。

通販等でも商品の魅力の他に、試供品や返品保証等で購入ハードルを下げるので、資源的な魅力と同時に交通網や中継地(道の駅)などがあると、ダメでも戻れるという気持ちと、資源への魅力でお試し移住も増えるのでは。

定住はとても難しい問題です、特徴ある気仙沼市を望みます。介護に強いとか、施設入居の待ち時間がない、などがあると移住する人もふえるのかと思います。

定住者を増やすためには市内企業(家業)の家族内内部留保を放出による賃金上昇が必須です。

田中のトンネルが暗くて危険

日、祝日、お盆や年末年始学校関連がお休みで遊べる場所がない。児童館は第二と四休み、kウェーブもキッズルーム30分のみ。雨や雪、風吹いても安心して過ごせる場所が無いです。気仙沼以外の施設を求めて出かけ、食事含めたの場所でお金を使っている。居心地が良い環境とは言えない。

コけ過でママ友と知り合う場所も無い。

気仙沼の魅力が伝わりにくい。

大学や専門学校が無い為若い人が出ていき、職場も無いため人は戻ってこない。水産業以外の選択肢が新卒で入る人も少ない

民間と行政の垣根を越えた協力体制の構築。

子育て世代や家庭に対する手厚い支援。子育てコンシェルジュ的な人材の育成と開設、またその支援。

流行の服やモノは、ネットでなんでもそろろう。問題は仕事で、Uターンで戻りたくとも仕事に限られているので戻らない知人もいる。都市部なんかと比べると、30年前を生きているような感覚。老若男女問わず、スキルアップできる環境を欲しているが、それを良としない御大方があるのでかなわない。よくも悪くも時間の進みが遅いエリア。

あとはガソリンも高く、自家用車必須の地域。物価・家賃も安いとは言い切れないし、移住者を受け入れるのに、コスパは売り文句にできない。

両立支援、給与水準の引き上げなど、働く方の環境の向上がないと、人口の流出は止まらないと思います。

子供を産んだ方には1千万くらい支給する。生涯賃金数億稼ぐ視点から見れば数千万円は納税してくれるはず。それでペイできそうなのですが・・・

福祉の充実

気仙沼市の人あまりよそ者を受け入れたくないと思っていると、感じる事が時々ある

人が住みたいと思える街になるよう、官民一体を目指しと貰いたい。

26年ほど前に、夫の都合で静岡へ転勤となり、小さな子ども2人連れて移住した。

2年後に義父が病気になり、（定住する予定だったが）介護も必要になるであろうことから、気仙沼に戻ってきた。静岡での夫の仕事は福利厚生面や休日も多く、今でもたまに「静岡にいれば今頃はもっと楽に生活できたのに・・・」と夫が愚痴を漏らすことがある。

夢物語的に「あんな場所に住みたいね」等と二人で話すことがあるが、現実的ではないことは分かっている。

夫の現在の職場には退職金の制度もなく、あまり将来への希望もない。

賃金の安さの改善と、福利厚生面の改善が必要と思う。

子どもたちは、関東で仕事をしているが親よりも良い条件で働いているようだ。

ほぼ愚痴になってしまいましたが・・・。

若い人も、結婚し、子どもを育て、家を建て・・・なかなか厳しいと思う。

※ちなみに私は今の職場に不満はありません。

人口減少問題の原因自体が、これまで有効な政策を行ってこなかった国の失敗によるものなので、一地方市町村が頑張ったところで限界があると思う（やらないよりはマシな程度）。本気であるならば、もう少し同じような状態の自治体は全国に沢山あるので、情報交換したり、よその人達の意見に真摯に耳を傾ける等、謙虚で地道な努力を積み重ねない限り、協力を得ることも難しいし、状況改善も見込めないと思いますよ。周りを見ても親世代が諦め半分で、自分の子供たちにUターンしない方が良いと言ってるぐらいですから(笑)